

**まちづくりや生活環境などに関する意識調査
アンケート調査報告書**

**令和7年3月
七宗町**

目次

I 調査概要	1
II 調査結果	2
1 あなたご自身について	2
2 七宗町での暮らしについて	7
3 結婚について	12
4 子ども・子育てについて	16
5 今後のまちづくりについて	22
6 自由意見	33
資料編	42
アンケート票	42

I 調査概要

■1.調査の目的

本調査は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「七宗町第六次総合計画」の策定にあたって、市民の皆様のご意見をお伺いし、計画に反映させるために実施することを目的としています。

■2.調査対象

七宗町にお住まいの16歳以上の方を無作為に抽出した1000名。

■3.調査方法

郵送にて配布。返送用封筒にて郵送による回収とWEBによる回答を併用。

■4.調査期間

令和6年7月23日に配布し、8月13日を提出期限として回収。

■5.回収状況

有効回収数 366 票 有効回収率 36.6%。

■6.調査項目

- 1 回答者の属性
- 2 本町での暮らしについて
- 3 結婚について
- 4 子ども・子育てについて
- 5 今後のまちづくりについて
- 6 情報通信環境やデジタル関連施策について

■7.報告書の見方

図表中のNとは、回答者総数のことです。

割合はNを100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が100.0%にならない場合があります。

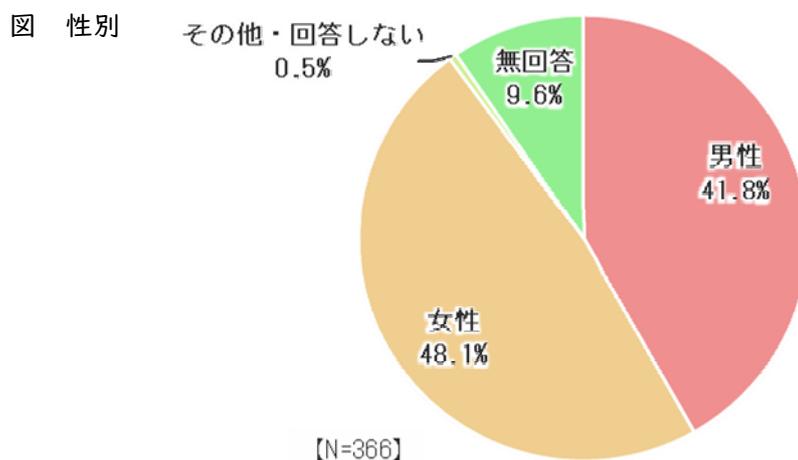
Ⅱ 調査結果

Ⅰ あなたご自身について

問Ⅰ あなたご自身のことについて、あてはまる番号を選んでください。

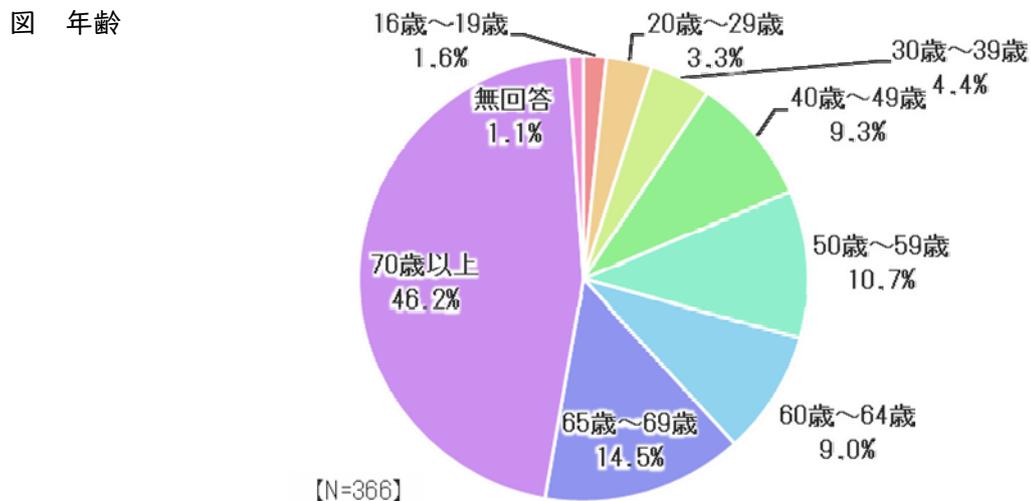
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が48.1%、「男性」が41.8%となっています。



(2) 年齢

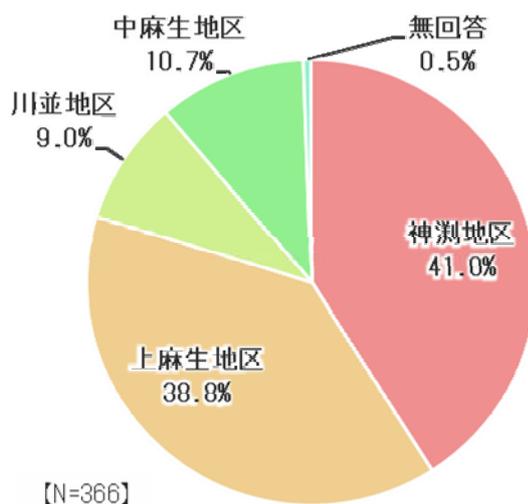
回答者の年齢は、「70歳以上」が46.2%と最も多く、以下、「65歳～69歳」が14.5%、「50歳～59歳」が10.7%、「40歳～49歳」が9.3%となっています。



(3) 住まいの地区

回答者の住まいの地区は、「神測地区」が 41.0%、「上麻生地区」が 38.8%、「中麻生地区」が 10.7%、「川並地区」が 9.0%となっています。

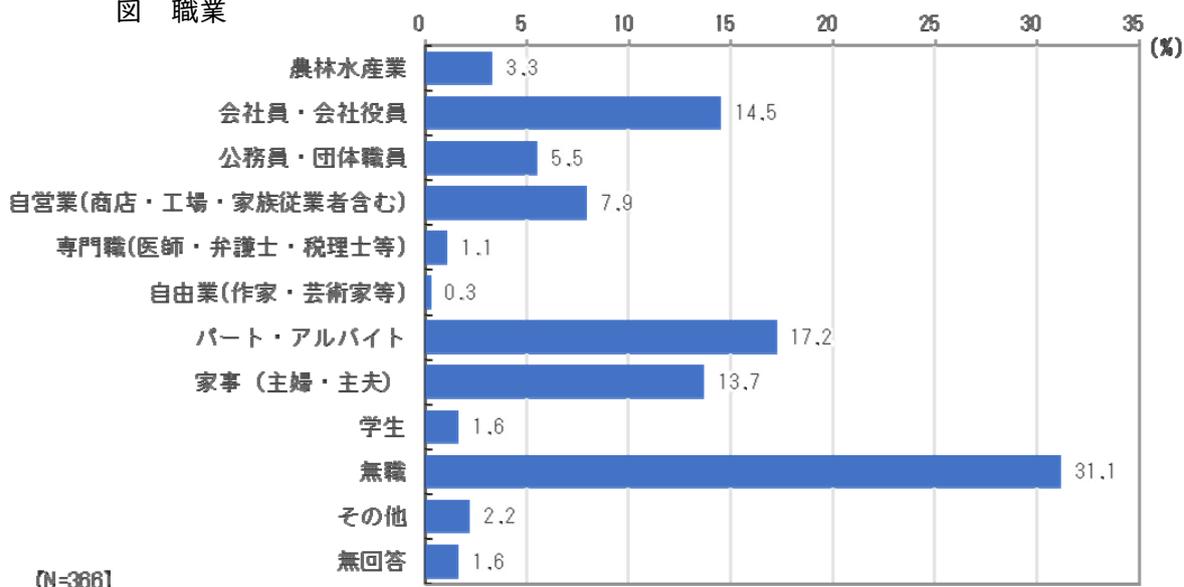
図 住まいの地区



(4) 職業

回答者の職業は、「無職」が 31.1%で最も多く、以下、「パート・アルバイト」が 17.2%、「会社員・会社役員」が 14.5%、「家事（主婦・主夫）」が 13.7%、「自営業（商店・工場・家族従業員含む）」が 7.9%と続いています。

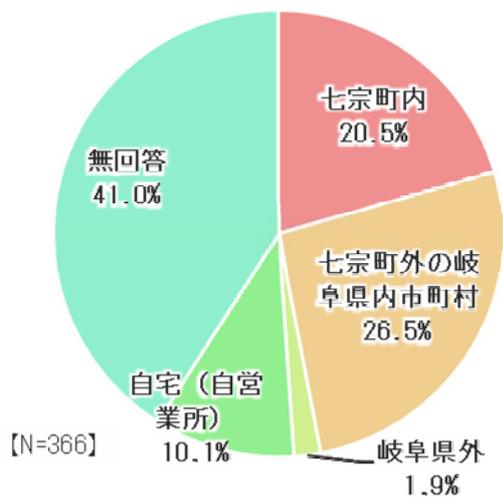
図 職業



(5) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「七宗町外の岐阜県内市町村」が26.5%、「七宗町内」が20.5%、「自宅（自営業所）」が10.1%、「岐阜県外」が1.9%となっています。

図 通勤・通学先

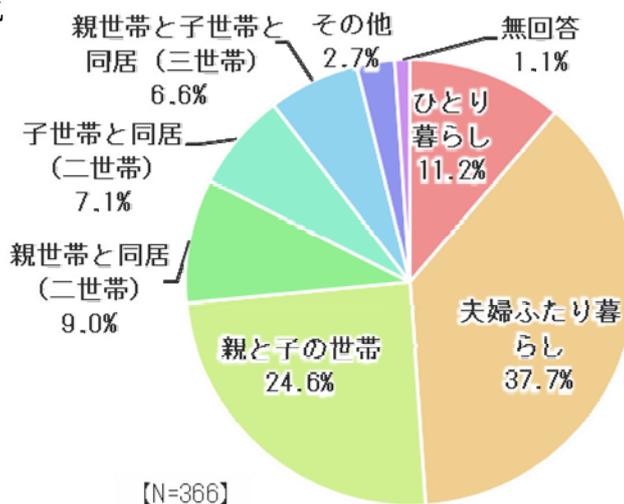


<七宗町外の岐阜県内市町村>		<岐阜県外>
岐阜市	白川町	愛知県
関市	富加町	名古屋市
美濃加茂市	川辺町	小牧市
可児市	坂祝町	長野県
下呂市	御嶽町	

(6) 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦ふたり暮らし」が37.7%と最も多く、以下、「親と子の世帯」が24.6%、「ひとり暮らし」が11.2%と続いています。

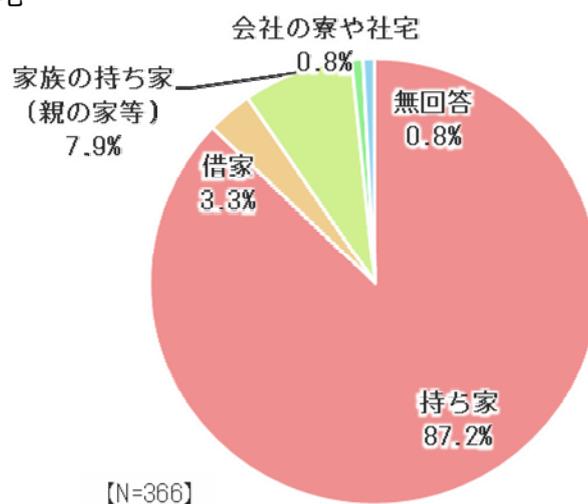
図 家族構成



(7) お住まいの住宅

回答者のお住まいの住宅は、「持ち家」が87.2%と大多数となっており、そのほかでは、「家族の持ち家（親の家等）」が7.9%、「借家」が3.3%となっています。

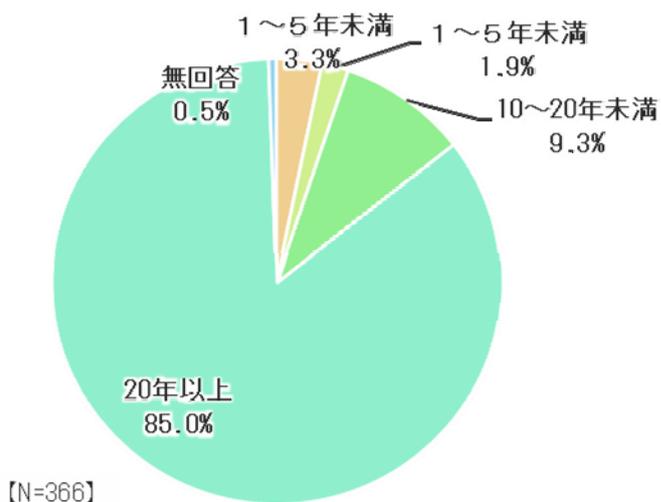
図 住まいの住宅



(8) 七宗町内における居住年数

回答者の七宗町内における居住年数は、「20年以上」が85.0%と大多数となっており、そのほかでは、「10～20年未満」が9.3%、「1～5年未満」が3.3%、「5～10年未満」が1.9%となっています。

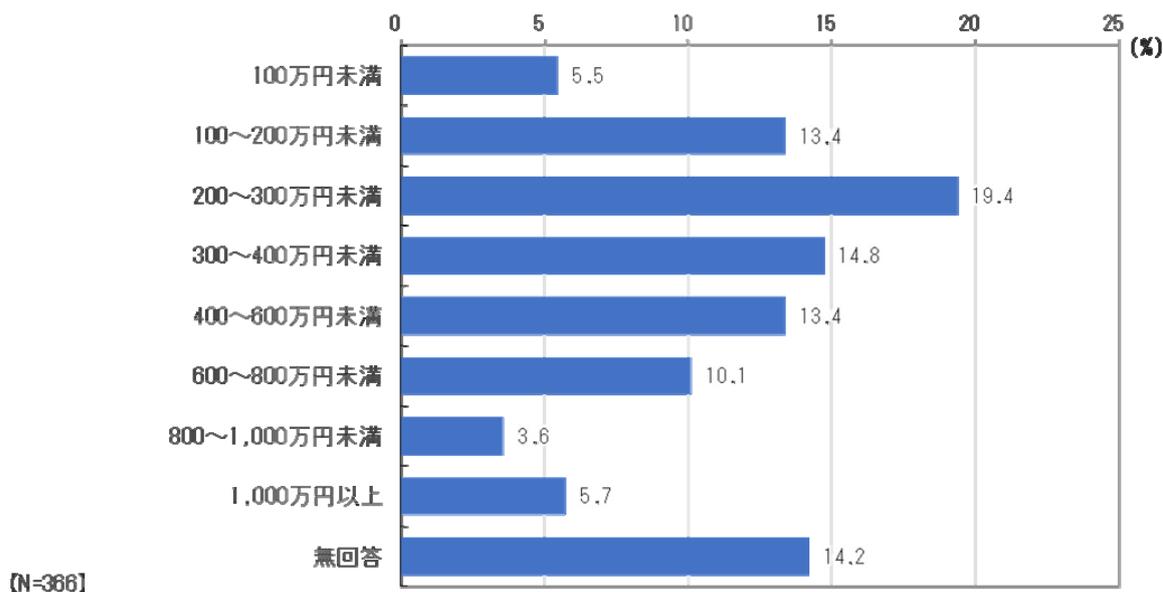
図 居住年数



(9) 世帯の総年収

回答者の世帯の総年収は、「200～300万円未満」が19.4%で最も多く、以下、「300～400万円未満」が14.8%、「400～600万円未満」が13.4%、「100～200万円未満」が13.4%、「600～800万円未満」が10.1%と続いています。

図 世帯の総年収



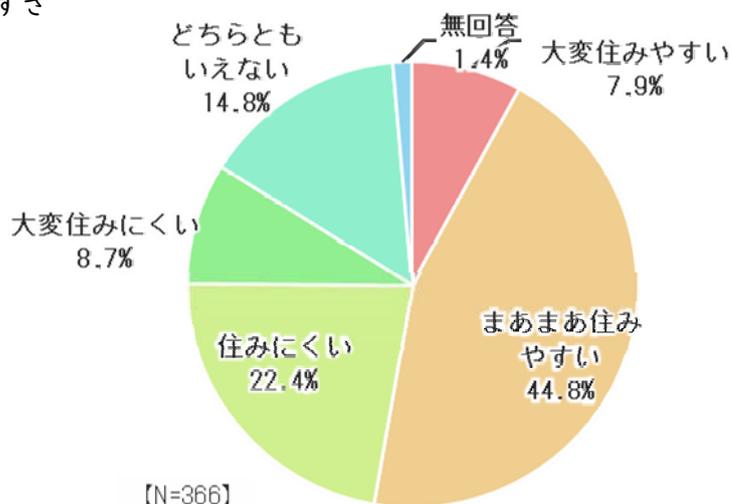
2 七宗町での暮らしについて

問2 あなたは、七宗町を総合的にみて、住みやすいまちだと思いますか

「たいへん住みやすい」が7.9%、「まあまあ住みやすい」が44.8%で、あわせて52.7%が住みやすいと回答しています。

一方、「たいへん住みにくい」が8.7%、「住みにくい」が22.4%で、あわせて31.1%が住みにくいと回答しています。

図 住みやすさ

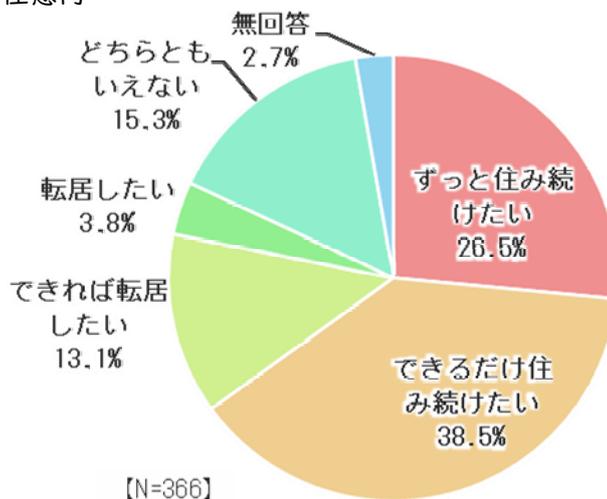


問3 あなたは、今後も七宗町に住み続けたいと思いますか

「ずっと住み続けたい」が26.5%、「できるだけ住み続けたい」が38.5%で、あわせて65.0%が今後も住み続けたいと回答しています。

一方、「転居したい」が3.8%、「できれば転居したい」が13.1%で、あわせて16.9%が転居したいと回答しています。

図 今後の居住意向

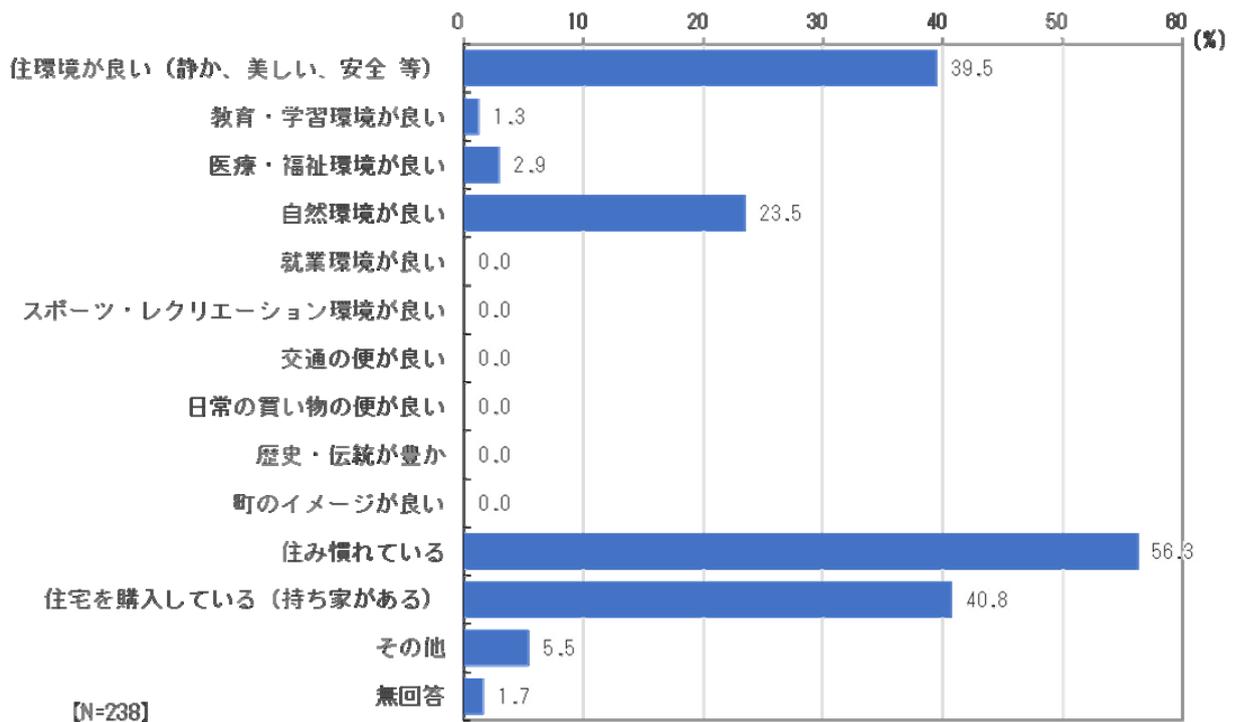


問3-① 住み続けたい理由【問3で(住み続けたい)と回答された方】

《非該当：128件を除く》

住み続けたい理由としては、「住み慣れている」が56.3%で最も多く、以下、「住宅を購入している(持ち家がある)」が40.8%、「住環境が良い(静か、美しい、安全等)」が39.5%、「自然環境が良い」が23.5%と続いています。

図 住み続けたい理由



<その他のご意見>

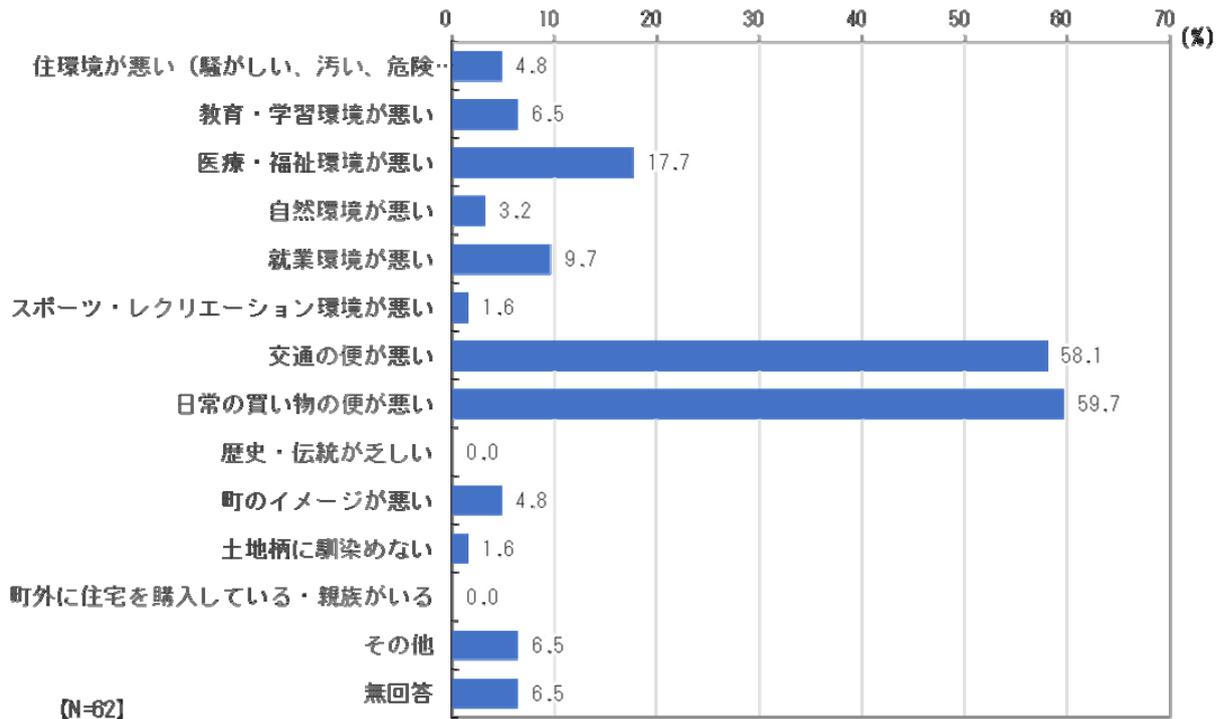
- ・母親が住んでいる
- ・住民との繋がり
- ・災害に強いまち

問3-② 転居したい理由【問3で(転居したい)と回答された方】

《非該当: 304件 を除く》

転居したい理由としては、「日常の買い物の便が悪い」が59.7%、「交通の便が悪い」が58.1%と多くなっており、以下、「医療・福祉環境が悪い」が17.7%、「就業環境が悪い」が9.7%と続いています。

図 転居したい理由

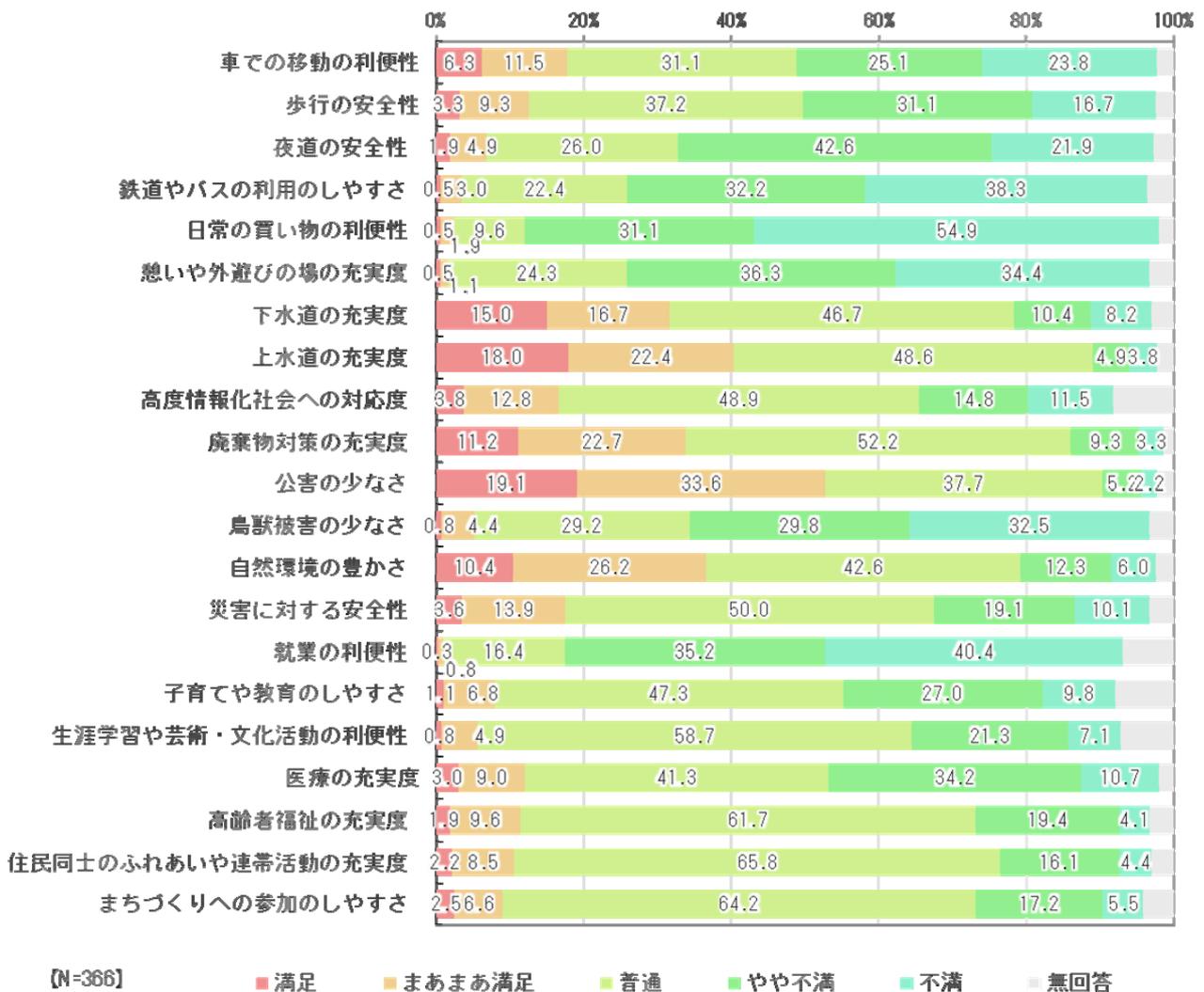


問4-① あなたは、身の周りの生活環境について、どの程度満足されていますか。

身の周りの生活環境について、満足度（「満足」と「まあまあ満足」をあわせた割合）が高い項目は、「公害の少なさ」が52.7%と最も高く、以下、「上水道の充実度」が40.4%、「自然環境の豊かさ」が36.6%、「廃棄物対策の充実度」が33.9%、「下水道の充実度」が31.7%と続いています。

一方、不満度（「不満」と「やや不満」をあわせた割合）が高い項目は、「日常の買い物の利便性」が86.1%と最も高く、以下、「就業の利便性」が75.7%、「憩いや外遊びの場の充実度」が70.8%、「鉄道やバスの利用のしやすさ」が70.5%、「夜道の安全性」が64.5%、「鳥獣被害の少なさ」が62.3%と続いています。

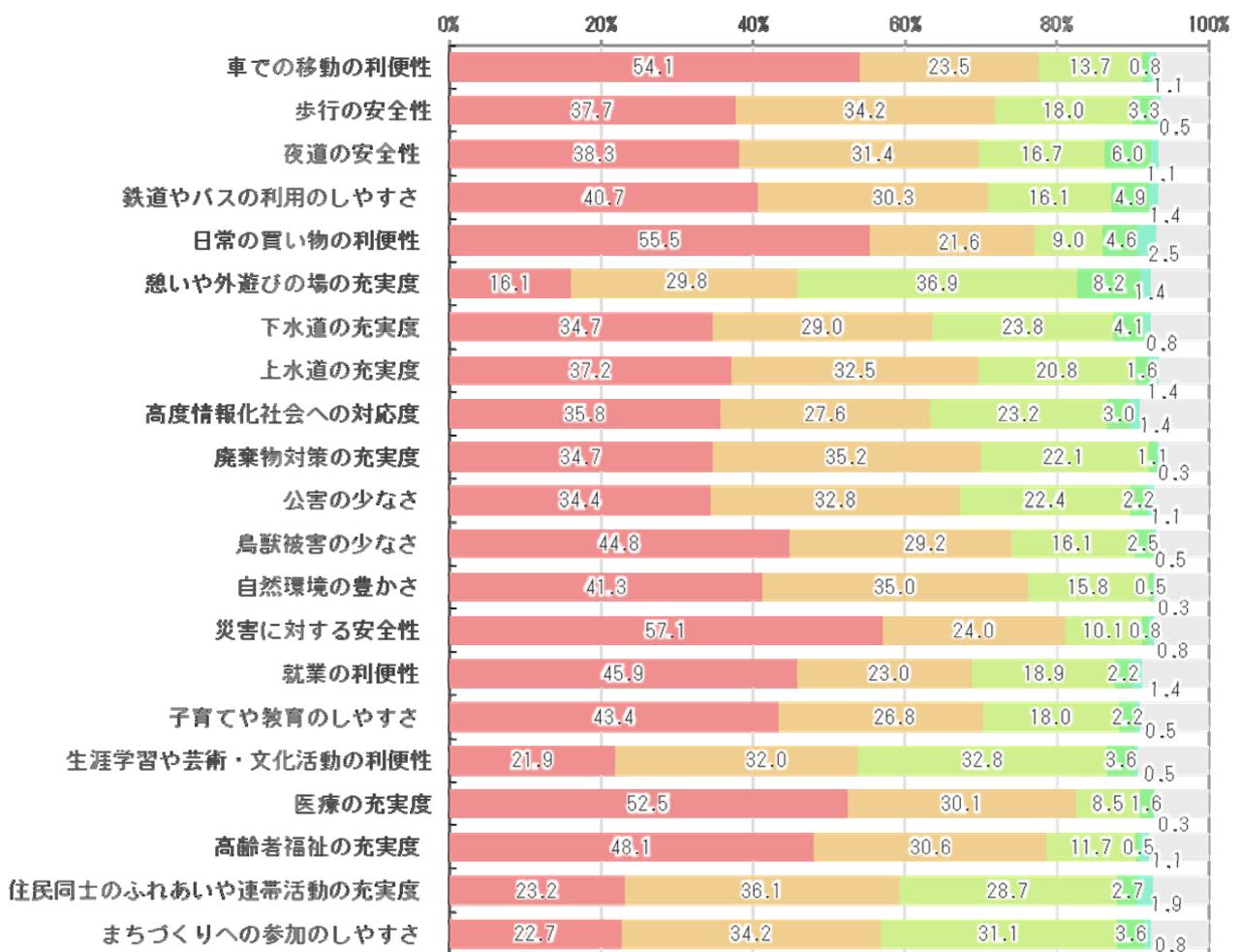
図 身の周りの生活環境についての満足度



問4-② あなたは、身の周りの生活環境について、今後どの程度重要とお考えですか

身の回りの生活環境について、重要度（「重要」と「まあまあ重要」をあわせた割合）が高い項目は、「医療の充実度」が 82.5%と最も高く、以下、「災害に対する安全性」が 81.1%、「高齢者福祉の充実度」が 78.7%、「車での移動の利便性」が 77.6%、「日常の買い物の利便性」が77.0%、「自然環境の豊かさ」が76.2%、「鳥獣被害の少なさ」が74.0%、「歩行の安全性」が71.9%、「鉄道やバスの利用のしやすさ」が71.0%、「子育てや教育のしやすさ」が70.2%と続いています。

図 身の周りの生活環境についての重要度



(N=366)

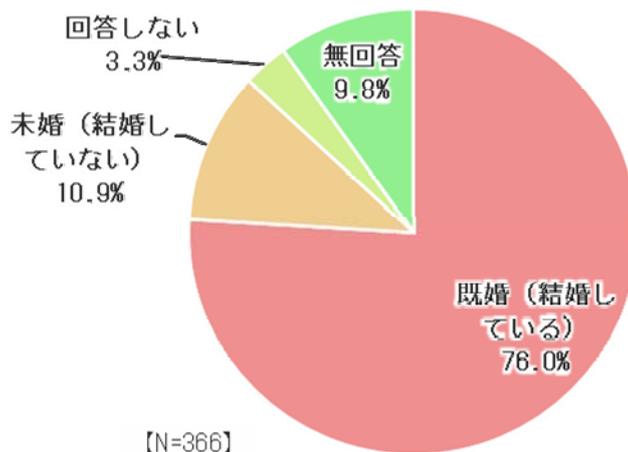
■重要 ■まあまあ重要 ■どちらともいえない ■あまり重要ではない ■重要でない ■無回答

3 結婚について

問5 あなたは、ご結婚されていますか

結婚については、「既婚（結婚している）」が76.0%、「未婚（結婚していない）」が10.9%となっています。

図 既婚・未婚

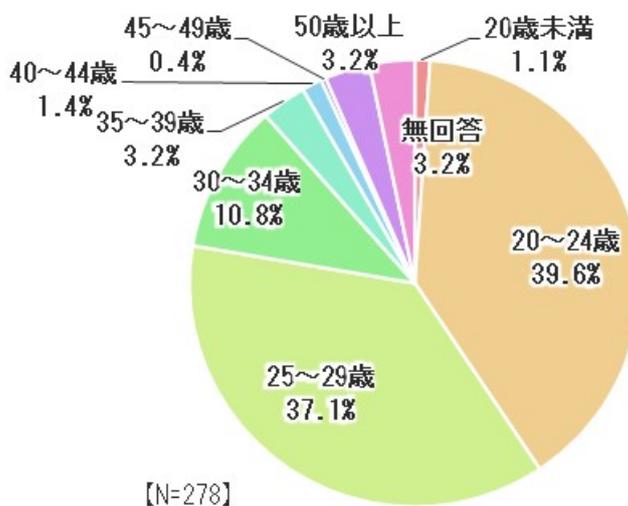


問5-① あなたは何歳で結婚されましたか

【問5で既婚（結婚していると回答された方】《非該当：88件を除く》

「20～24歳」が39.6%で最も多く、次いで、「25～29歳」が37.1%、「30～34歳」が10.8%、「35～39歳」「50歳以上」が3.2%と多くなっています。

図 何歳で結婚したか

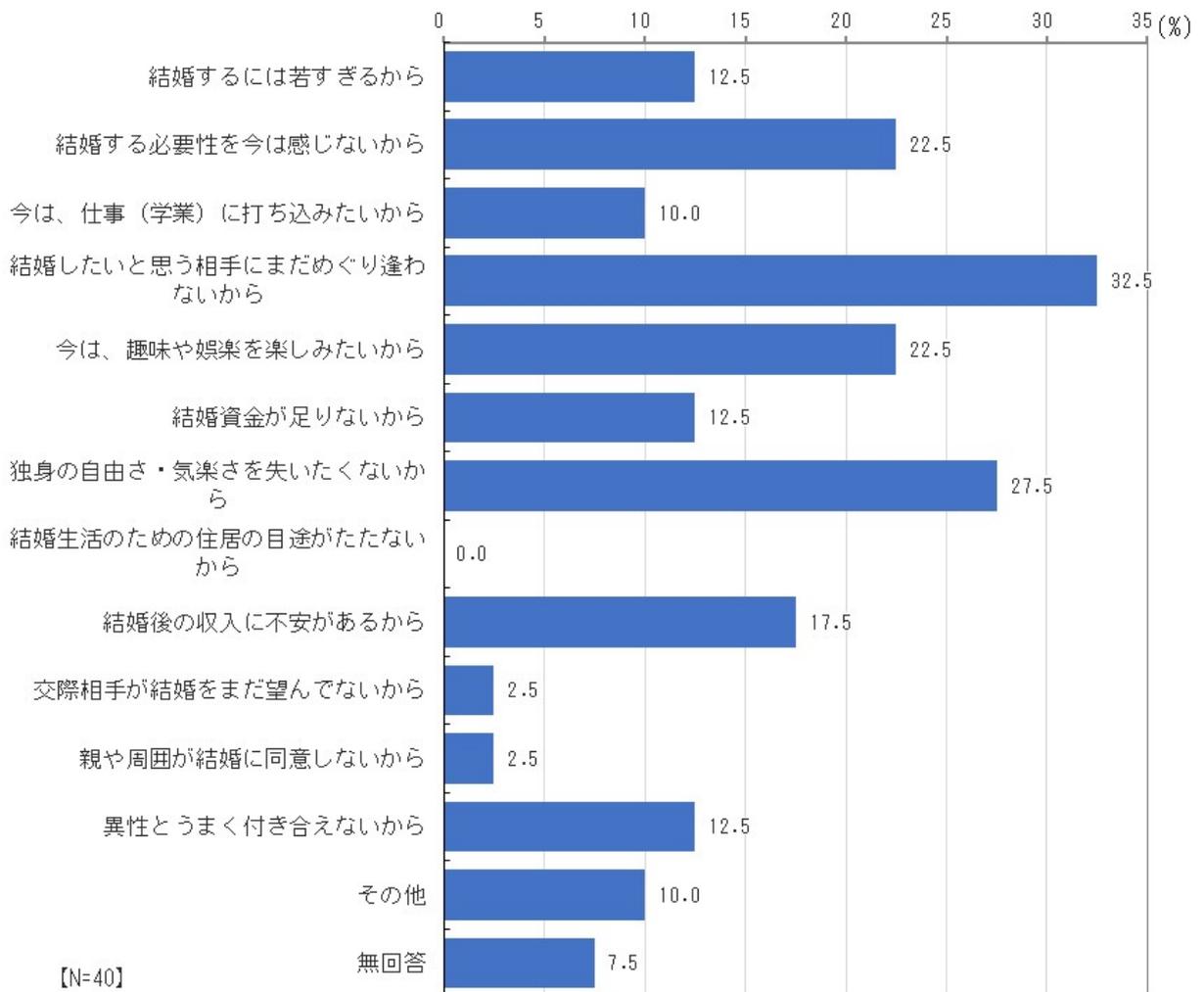


問5-② あなたが結婚していない主な理由はどのようなことですか

【問5で未婚(結婚していないと回答された方)《非該当: 326件 を除く》

結婚していない主な理由は、「結婚したいと思う相手にまだめぐり逢わないから」が32.5%で最も多く、以下、「独身の自由さ・気楽さを失いたくないから」が27.5%、「結婚する必要性を今は感じないから」、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」が22.5%と続いています。

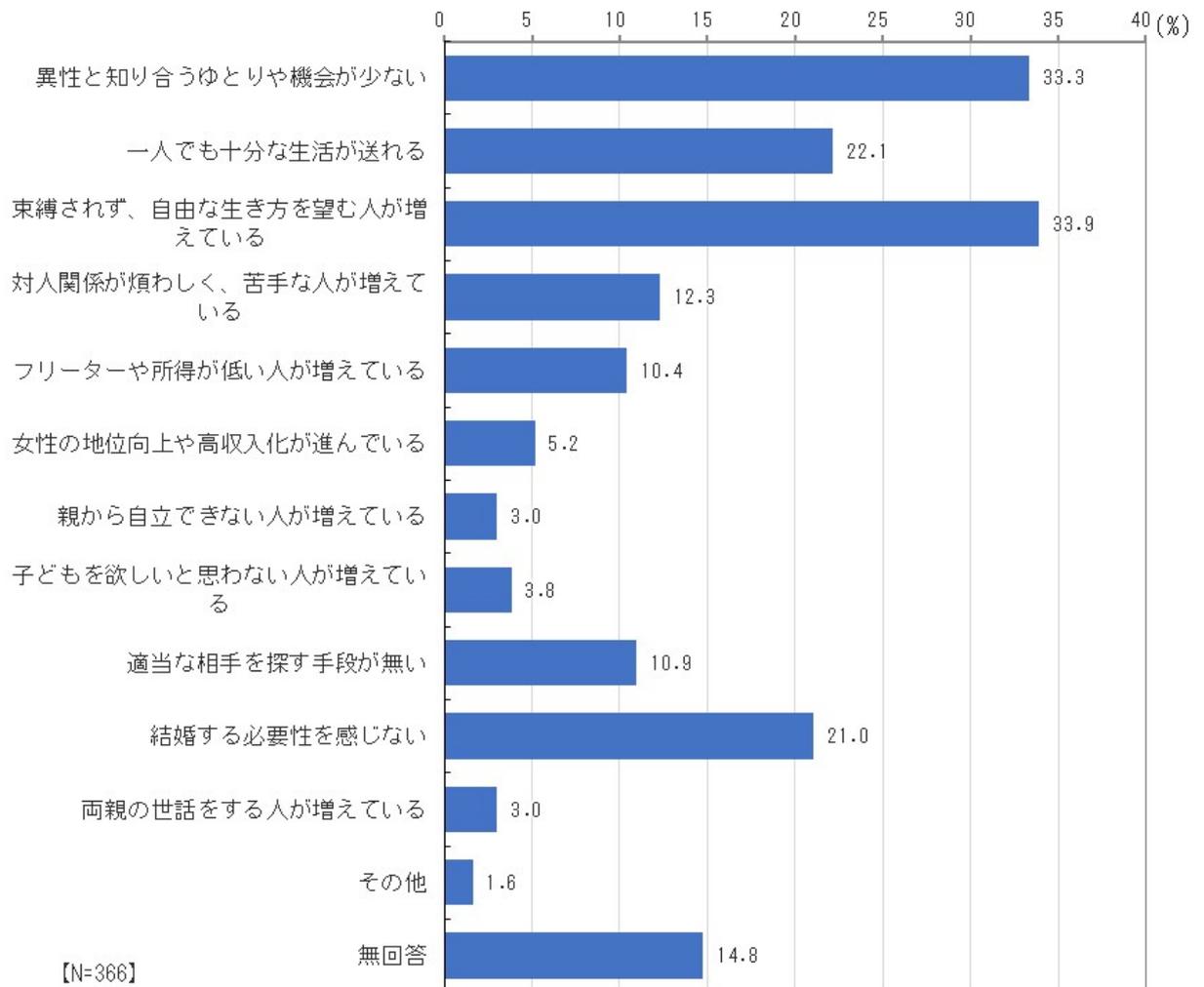
図 結婚していない理由



問6 結婚しない人や、晩婚の人が増えていると言われていた中で、それらの主な原因は何だと思いますか

「束縛されず、自由な生き方を望む人が増えている」が33.9%、「異性と知り合うゆとりや機会が少ない」が33.3%と多くなっており、そのほかでは、「一人でも十分な生活が送れる」が22.1%、「結婚する必要性を感じない」が21.0%と続いています。

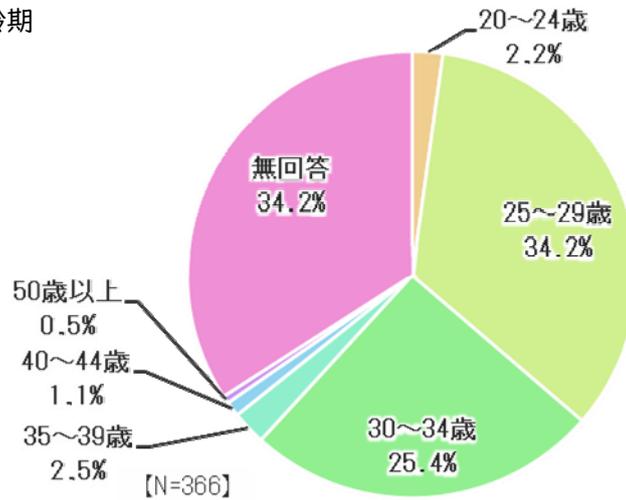
図 未婚・晩婚の理由



問7 結婚適齢期は何歳だと思いますか

結婚適齢期を尋ねたところ、「25～29歳」が34.2%、「30～34歳」が25.4%と多くなっています。

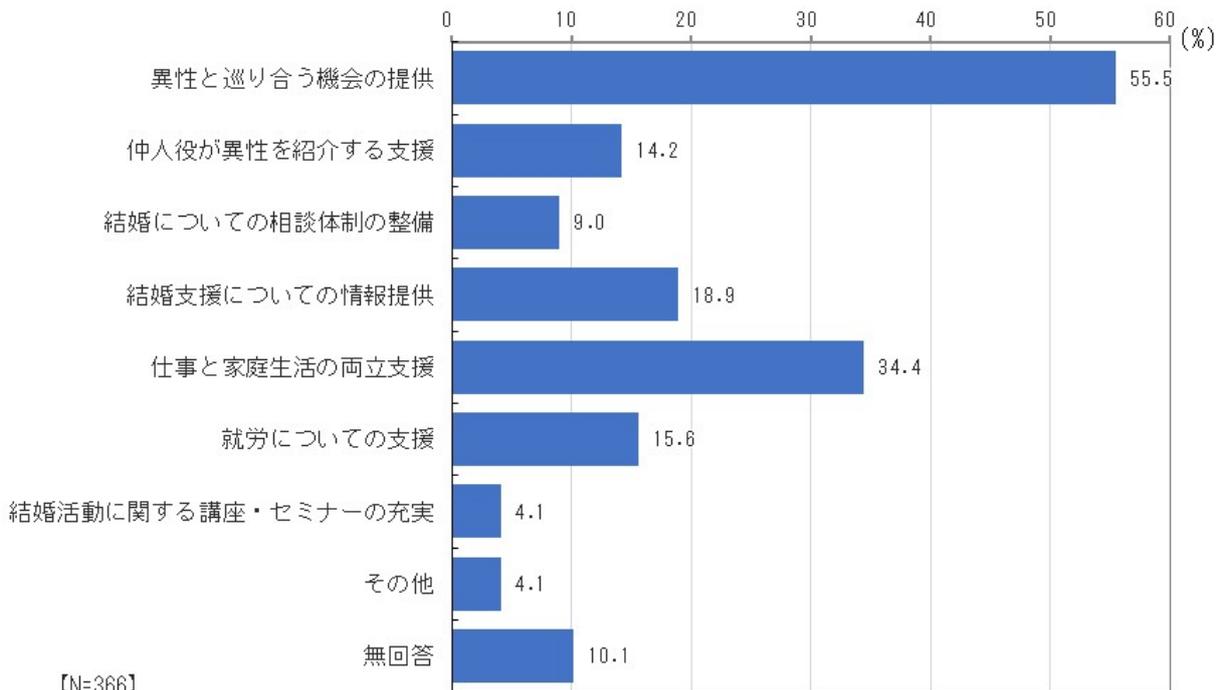
図 結婚適齢期



問8 結婚したい人が結婚するためには、どのような支援が必要だと思いますか

「異性と巡り合う機会の提供」が55.5%で最も多く、以下、「仕事と家庭生活の両立支援」が34.4%、「結婚支援についての情報提供」が18.9%、「就労についての支援」15.6%と続いています。

図 結婚したい人が結婚するために、どのような支援が必要か

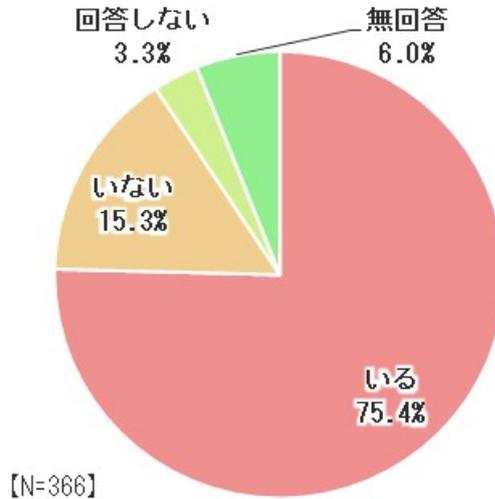


4 子ども・子育てについて

問9 あなたには、お子さんはいらっしゃいますか

子どもの有無については、「いる」が75.4%、「いない」が15.3%となっています。

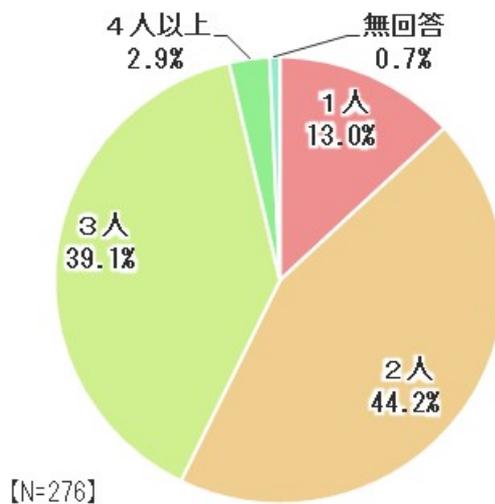
図 子どもの有無



問9-① あなたのお子さんの数、お生まれになった時のあなたの年齢を教えてください 【問9で「いる」と回答された方】《非該当：90件を除く》

お子さんの人数は、「2人」が44.2%と最も多く、以下、「3人」が39.1%、「1人」が13.0%、「4人以上」が2.9%となっています。

図 お子さんの人数



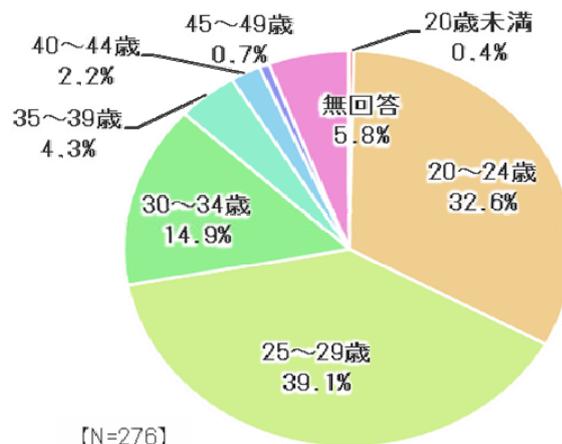
問9-① あなたのお子さんの数、お生まれになった時のあなたの年齢を教えてください

【問9で「いる」と回答された方】

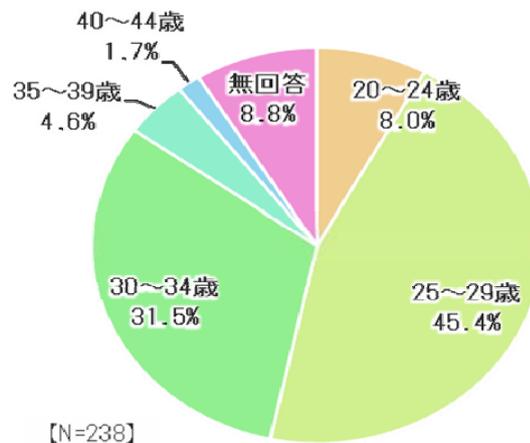
お子さんが生まれたときの年齢については、【1人目】では「25～29歳」が39.1%、「20～24歳」が32.6%と多く、【2人目】では「25～29歳」が45.4%、「30～34歳」が31.5%、【3人目】では「30～34歳」が42.2%、「25～29歳」が27.6%、「35～39歳」が19.0%と多くなっています。

図 お子さんが生まれたときの年齢

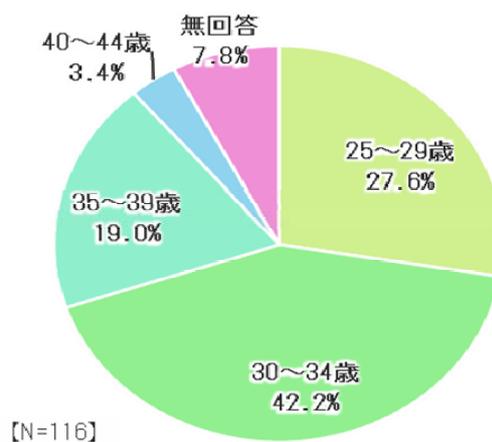
【1人目】



【2人目】



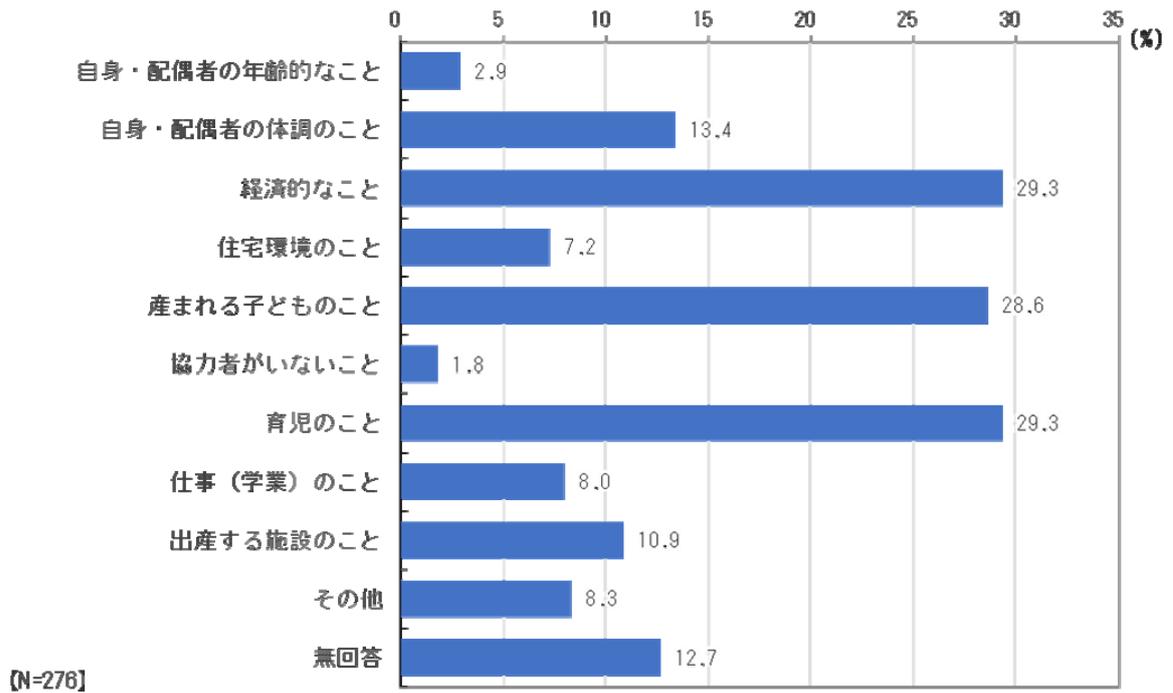
【3人目】



問9-② あなたは若しくは配偶者が妊娠・出産にあたり、不安なことはありましたか
【問9でお子さんが「いる」と回答された方】《非該当：90件を除く》

妊娠・出産にあたっての不安なこととしては、「経済的なこと」、「育児のこと」が29.3%、「産まれる子どものこと」が28.6%と多くなっています。

図表 妊娠・出産にあたっての不安なこと



<その他のご意見>

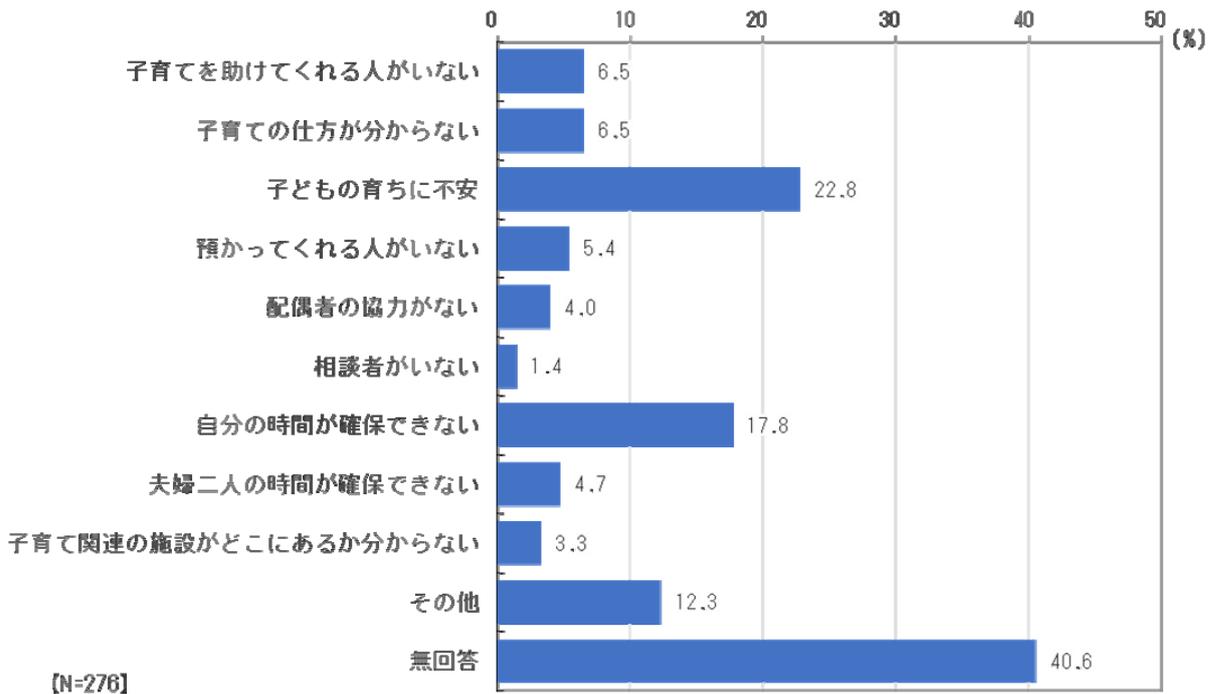
- ・近くに大きな病院がなく夜中などに不便
- ・同居の家族との関係
- ・出産そのものに不安があった
- ・子供の同級生がいない
- ・不安は沢山あったが希望の方が大きい

問9-③ 子育てについて、不安なことはありましたか

【問9で「いる」と回答された方】《非該当：90件を除く》

子育てについての不安としては、「子どもの育ちに不安」が22.8%、「自分の時間が確保できない」が17.8と多くなっています。

図 子育てについての不安



<その他のご意見>

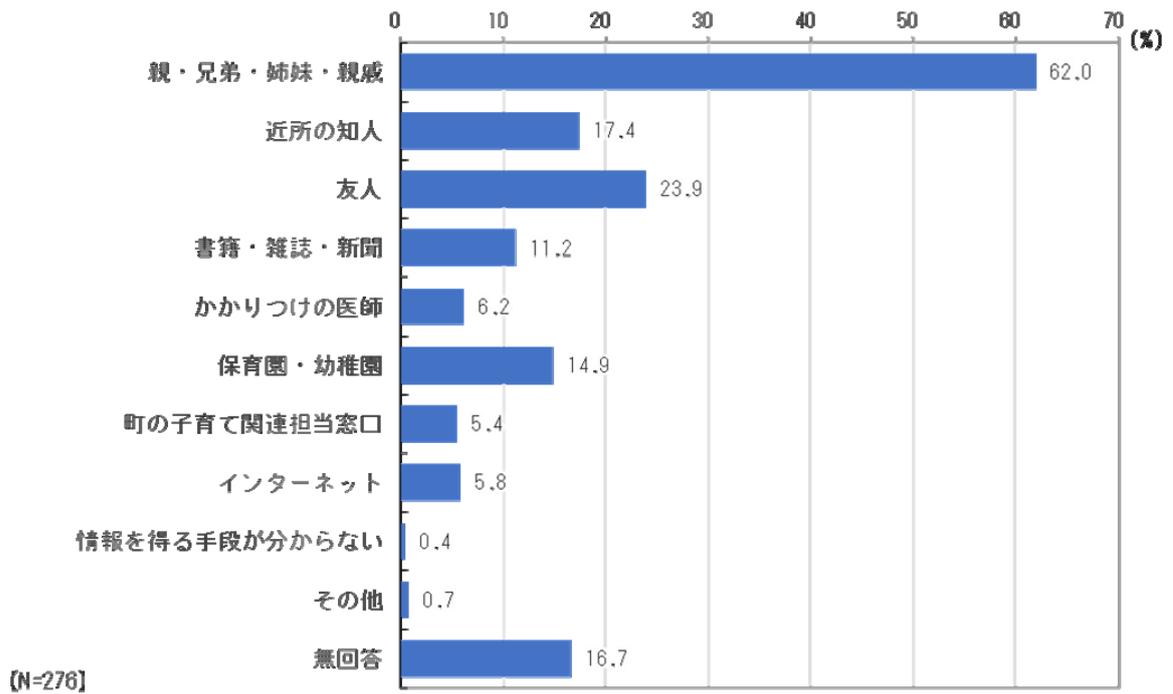
- ・子どもの数が少ない。
- ・病院（小児科）が遠い。
- ・習い事の選択肢が少ない。
- ・収入が少ない、金銭面、経済的なこと。
- ・うるさい姑がいた。
- ・初めての子育ての不安。

問9-④ 子育て情報を得るために利用したことがあるものは何ですか。

【問9でお子さんが「いる」と回答された方】《非該当：90件を除く》

子育て情報を得るための手段としては、「親・兄弟・姉妹・親戚」が62.0%と最も多く、以下、「友人」が23.9%、「近所の知人」が17.4%、「保育園・幼稚園」が14.9%、「書籍・雑誌・新聞」が11.2%と続いています。

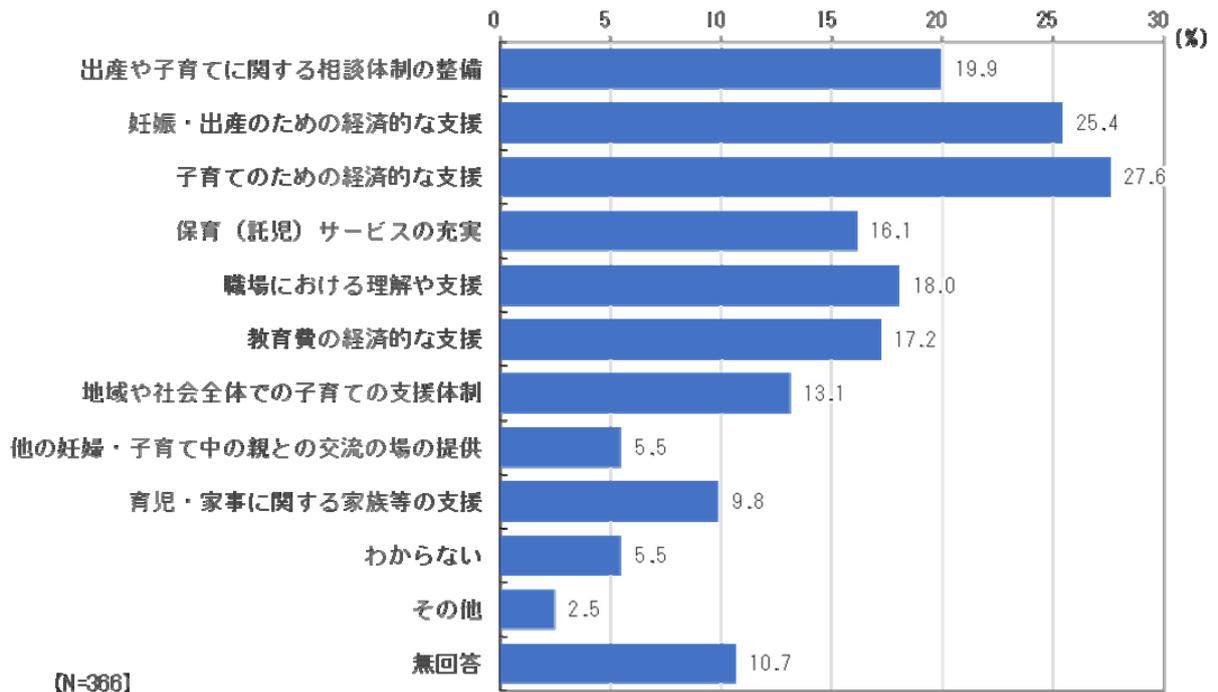
図 子育て情報を得るための手段



問 10 安心して子どもを産むためには、どのような支援が必要と思いますか

安心して子どもを産むために必要な支援としては、「子育てのための経済的な支援」が27.6%と最も多く、以下、「妊娠・出産のための経済的な支援」が25.4%、「出産や子育てに関する相談体制の整備」が19.9%、「職場における理解や支援」が18.0%、「教育費の経済的な支援」が17.2%、「保育（託児）サービスの充実」が16.1%と続いています。

図 安心して子どもを産むために必要な支援



<その他のご意見>

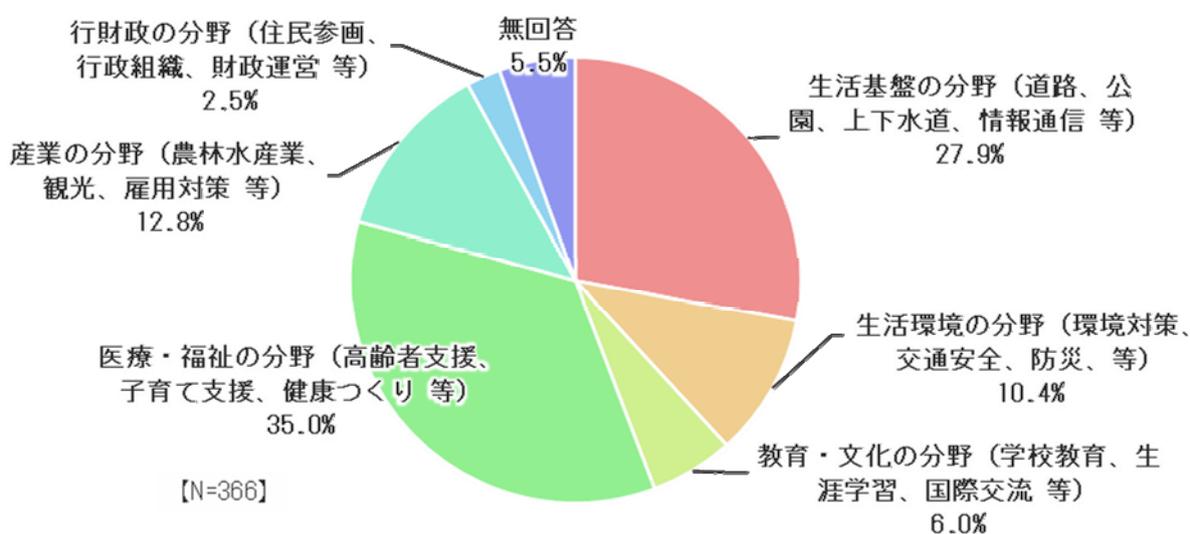
- ・給食費の無償化
- ・身近に医療施設・産院があること
- ・まずは結婚すること

5 今後のまちづくりについて

問11 あなたは、七宗町の今後のまちづくりについて、どの分野に力を入れるべきかとお考えですか

今後のまちづくりにおいて力を入れるべき分野としては、「医療・福祉の分野（高齢者支援、子育て支援、健康づくり等）」が35.0%と最も多く、以下、「生活基盤の分野（道路、公園、上下水道、情報通信等）」が27.9%、「産業の分野（農林水産業、観光、雇用対策等）」が12.8%、「生活環境の分野（環境対策、交通安全、防災、等）」が10.4%と続いています。

図 今後のまちづくりにおいて力を入れるべき分野

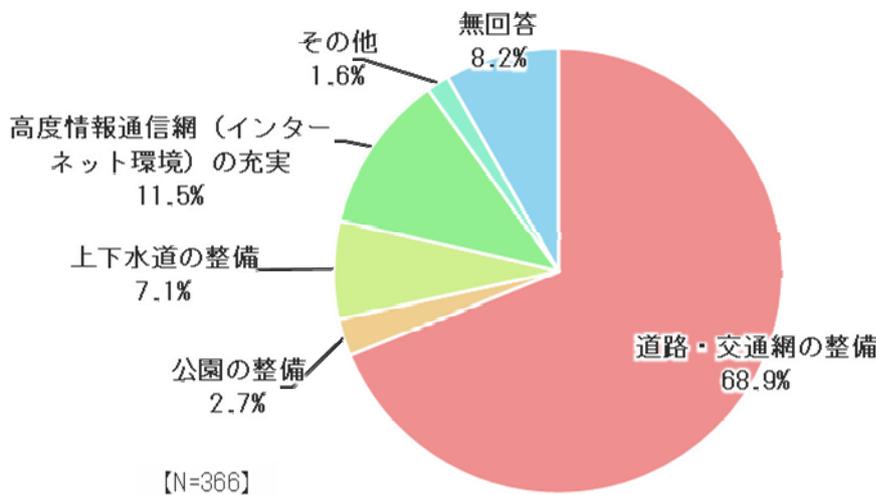


問12 あなたは、まちづくりの分野(生活基盤、生活環境、教育・文化 等)それぞれについて、どんな取組が必要だとお考えですか。

■生活基盤分野

生活基盤分野で必要な取組は、「道路・交通網の整備」が68.9%と最も多く、以下、「高度情報通信網（インターネット環境）の充実」が11.5%、「上下水道の整備」が7.1%と続いています。

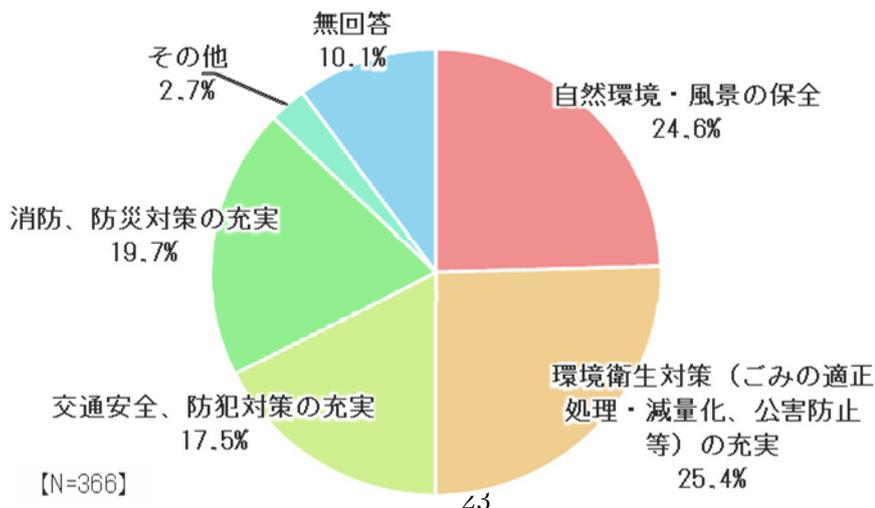
図 生活基盤分野で必要な取組



■生活環境分野

生活環境分野で必要な取組は、「環境衛生対策（ごみの適正処理・減量化、公害防止 等）の充実」が25.4%と最も多く、以下、「自然環境・風景の保全」が24.6%、「消防、防災対策の充実」が19.7%、「交通安全、防犯対策の充実」が17.5%と続いています。

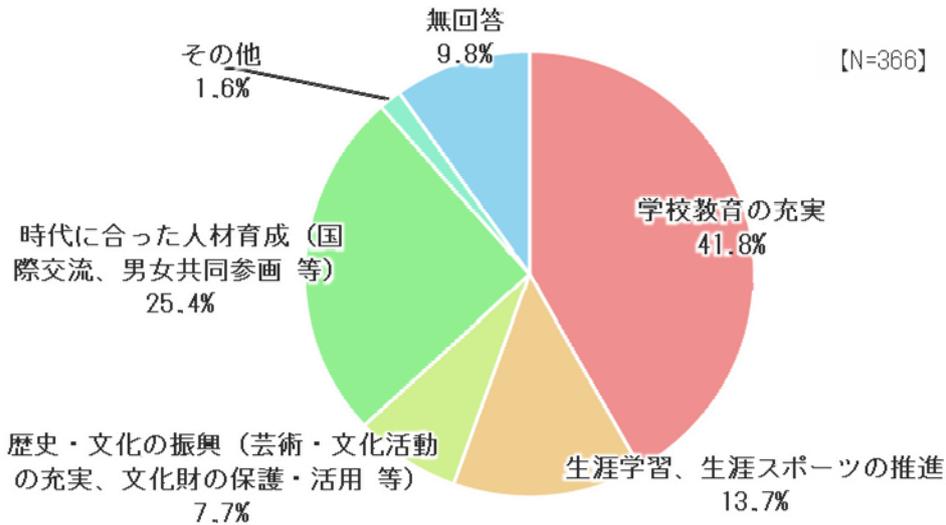
図 生活環境分野で必要な取組



■教育・文化分野

教育・文化分野で必要な取組は、「学校教育の充実」が41.8%と最も多く、以下、「時代に合った人材育成（国際交流、男女共同参画等）」が25.4%、「生涯学習、生涯スポーツの推進」が13.7%と続いています。

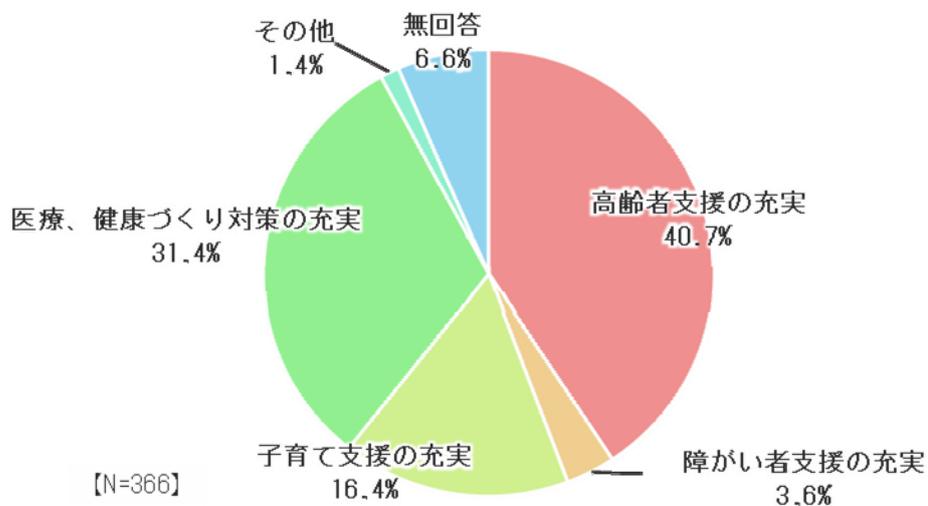
図 教育・文化分野で必要な取組



■医療・福祉分野

医療・福祉分野で必要な取組は、「高齢者支援の充実」が40.7%と最も多く、以下、「医療、健康づくり対策の充実」が31.4%、「子育て支援の充実」が16.4%と続いています。

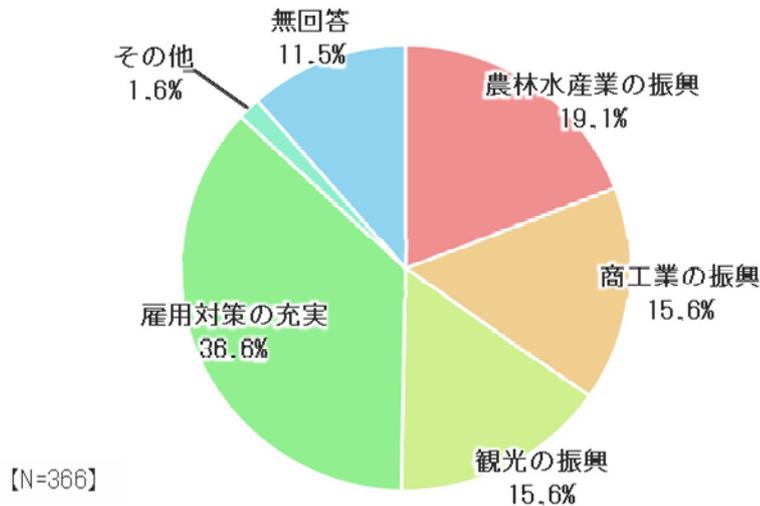
図 医療・福祉分野で必要な取組



■産業分野

産業分野で必要な取組は、「雇用対策の充実」が36.6%と最も多く、以下、「農林水産業の振興」が19.1%、「商工業の振興」「観光の振興」が15.6%、と続いています。

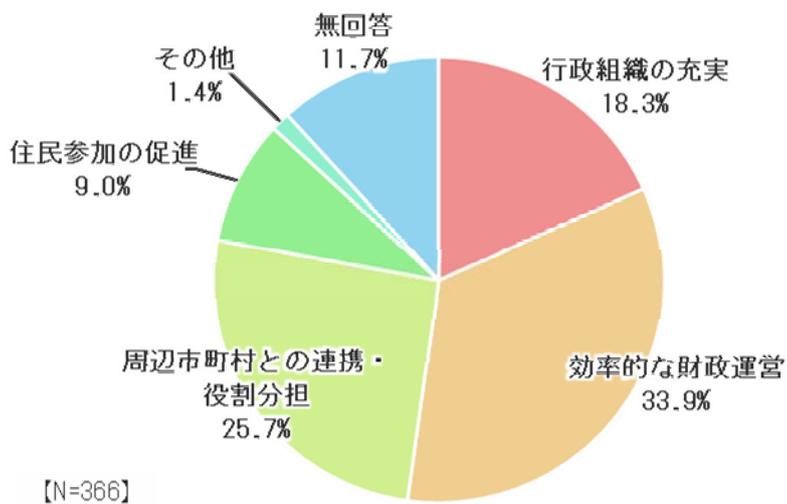
図 産業分野で必要な取組



■行財政分野

行財政分野で必要な取組は、「効率的な財政運営」が33.9%と最も多く、以下、「周辺市町村との連携・役割分担」が25.7%、「行政組織の充実」が18.3%、「住民参加の促進」が9.0%と続いています。

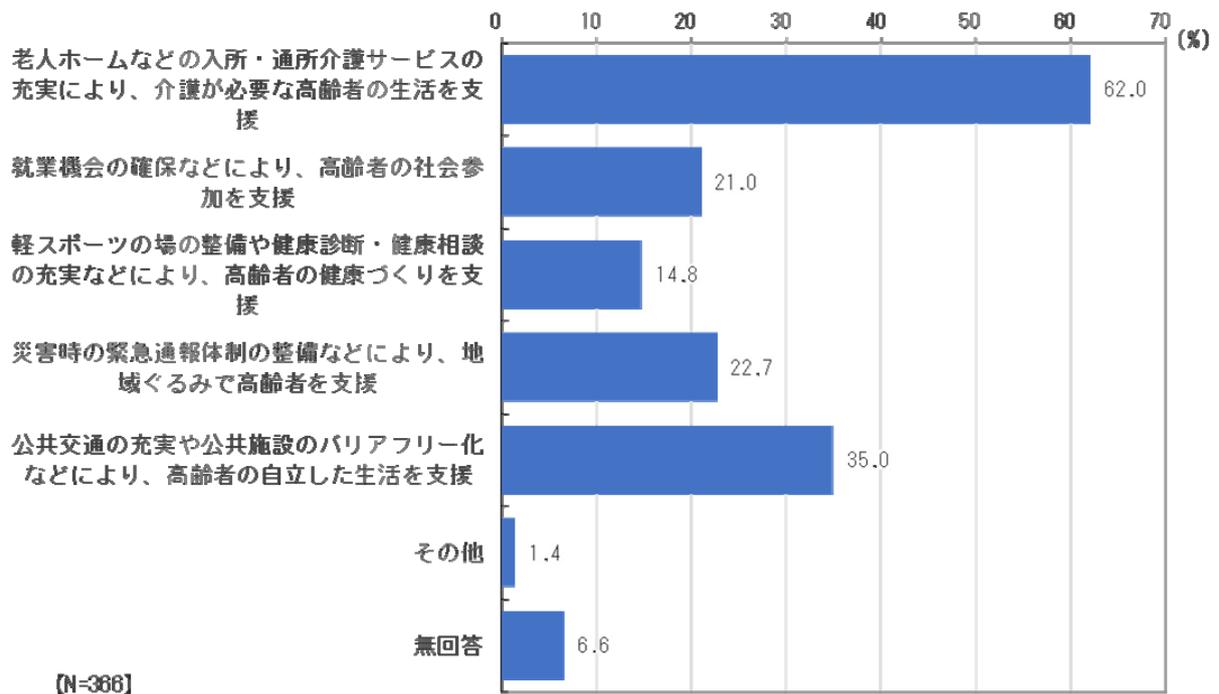
図 行財政分野で必要な取組



問 13 あなたは、高齢者支援として、どんな取組が重要だとお考えですか

高齢者支援として必要な取組は、「老人ホームなどの入所・通所介護サービスの充実により、介護が必要な高齢者の生活を支援」が62.0%と最も多く、以下、「公共交通の充実や公共施設のバリアフリー化などにより、高齢者の自立した生活を支援」が35.0%、「災害時の緊急通報体制の整備などにより、地域ぐるみで高齢者を支援」が22.7%と続いています。

図 高齢者支援として必要な取組



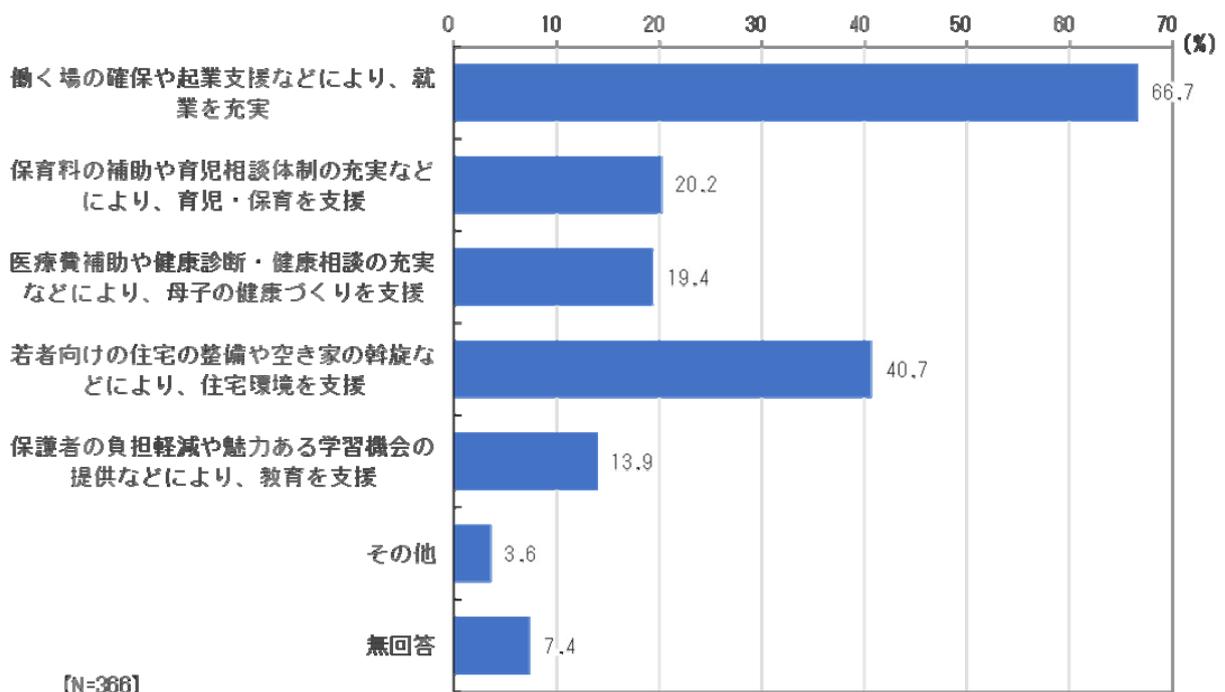
<その他のご意見>

- ・介護が必要になったとき困らないような知識を得ること。
- ・高齢者が最後まで自立できるように促す。
- ・安全な道の整備。
- ・孤立しないような取り組み。

問 14 あなたは、若者定住・少子高齢化対策として、どんな取組が重要だとお考えですか

若者定住・少子高齢化対策として必要な取組は、「働く場の確保や起業支援などにより、就業を充実」が 66.7 と最も多く、以下、「若者向けの住宅の整備や空き家の斡旋などにより、住宅環境を支援」が 40.7%、「保育料の補助や育児相談体制の充実などにより、育児・保育を支援」が 20.2%、「医療費補助や健康診断・健康相談の充実などにより、母子の健康づくりを支援」が 19.4%と続いています。

図 若者定住・少子高齢化対策として必要な取組



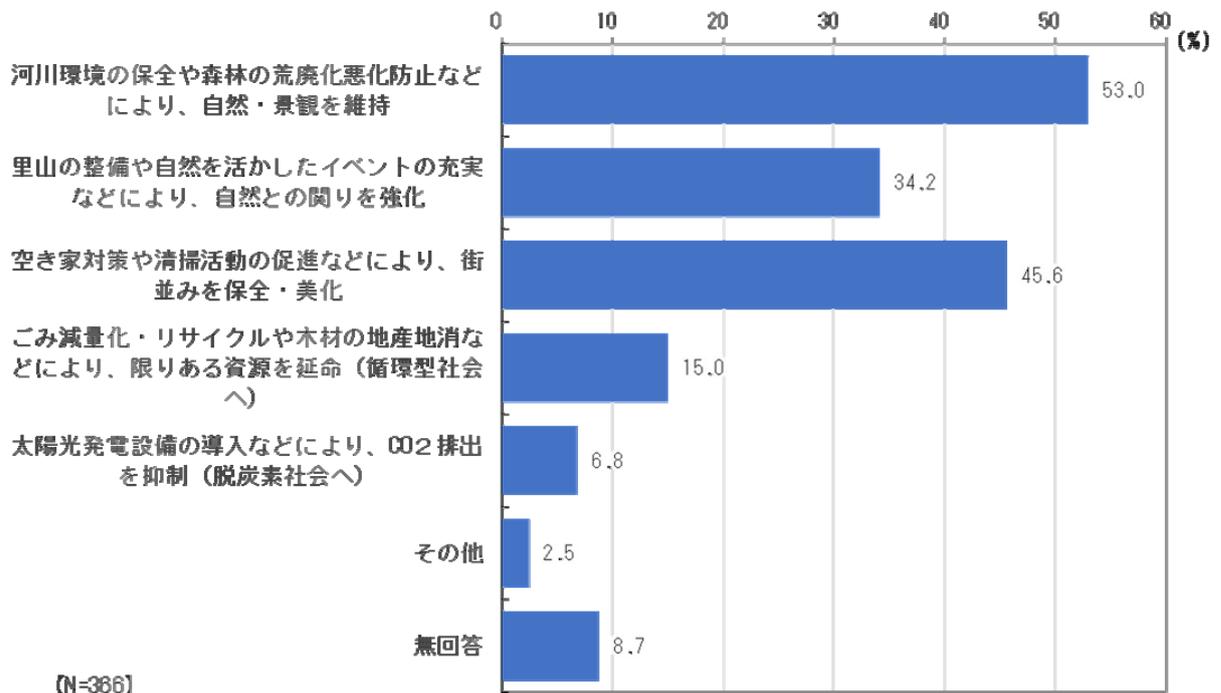
<その他のご意見>

- ・ 普段の買い物(衣料・食料)が出来る商店が必要。
- ・ 買い物をするお店がない。スーパーの支援。
- ・ 買い物。
- ・ 食料、日用品等の店舗の充実。
- ・ 田舎、余裕のある教育をアピールして移住を促す。
- ・ 毎日出る名古屋への直行便。
- ・ 安全な道、住みやすい町。
- ・ 住民税の引き下げ。
- ・ 間見峠の二車線化。

問 15 あなたは、環境対策として、どんな取組が重要だとお考えですか

環境対策として必要な取組は、「河川環境の保全や森林の荒廃化悪化防止などにより、自然・景観を維持」が53.0%と最も多く、以下、「空き家対策や清掃活動の促進などにより、街並みを保全・美化」が45.6%、「里山の整備や自然を活かしたイベントの充実などにより、自然との関りを強化」が34.2%と続いています。

図 環境対策として必要な取組



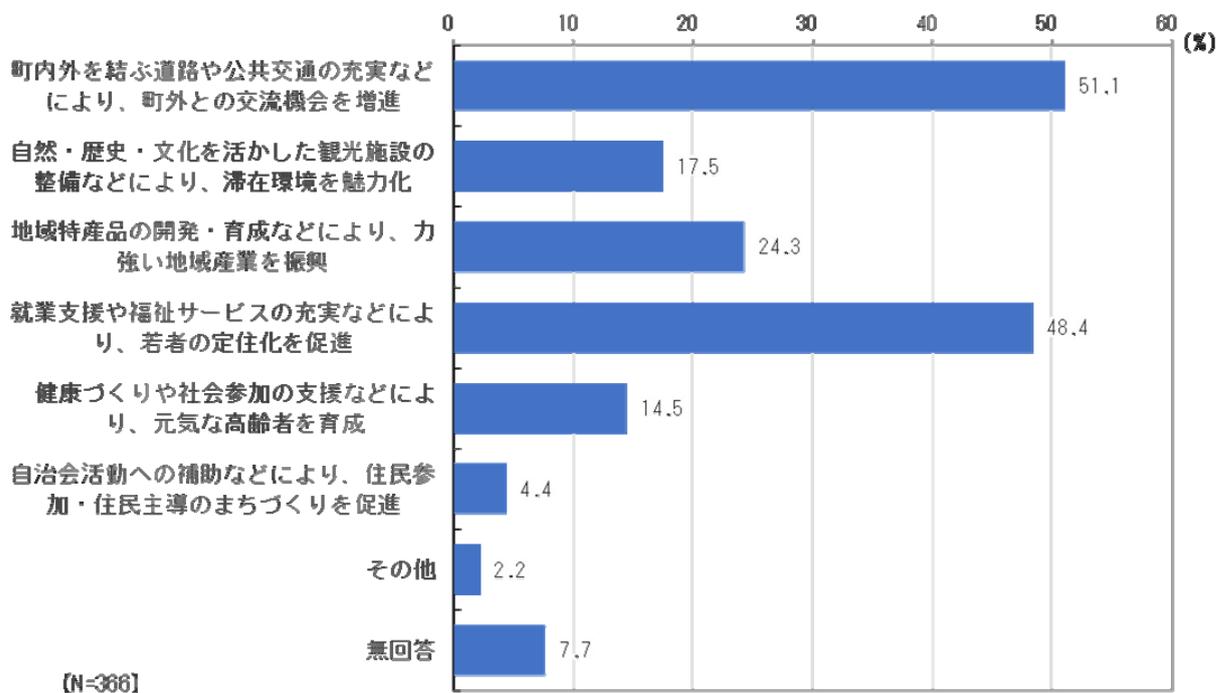
<その他のご意見>

- ・猿、鹿などの被害があると住みにくい。動物を活かすことは出来ないか。
- ・過去にもなかったような神湊川の清流を創生する。
- ・人間にもっと配慮してほしい。
- ・耕作放棄地対策。

問 16 あなたは、地域活性化対策として、どんな取組が重要だとお考えですか

地域活性化対策として必要な取組は、「町内外を結ぶ道路や公共交通の充実などにより、町外との交流機会を増進」が51.1%、「就業支援や福祉サービスの充実などにより、若者の定住化を促進」が48.4%と多くなっており、以下、「地域特産品の開発・育成などにより、力強い地域産業を振興」が24.3%、「自然・歴史・文化を活かした観光施設の整備などにより、滞在環境を魅力化」が17.5%と続いています。

図 地域活性化対策として必要な取組



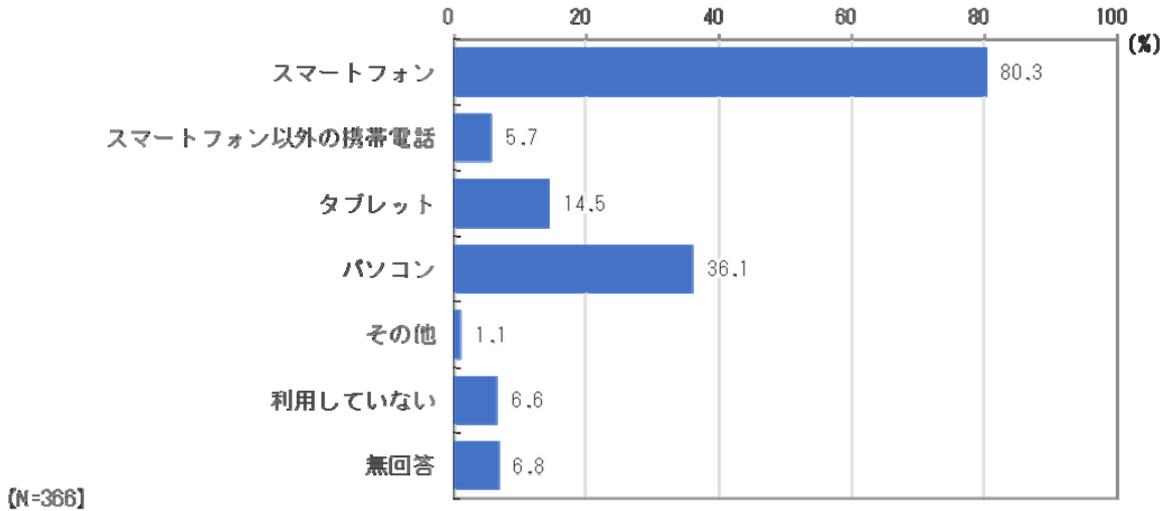
<その他のご意見>

- ・若者の転入定住を強力に促進する。
- ・企業誘致
- ・道路をもっとよくする。

問17 あなたはどのような通信機器を利用していますか

利用している通信機器は、「スマートフォン」が80.3%と最も多く、以下、「パソコン」が36.1%、「タブレット」が14.5%と続いています。

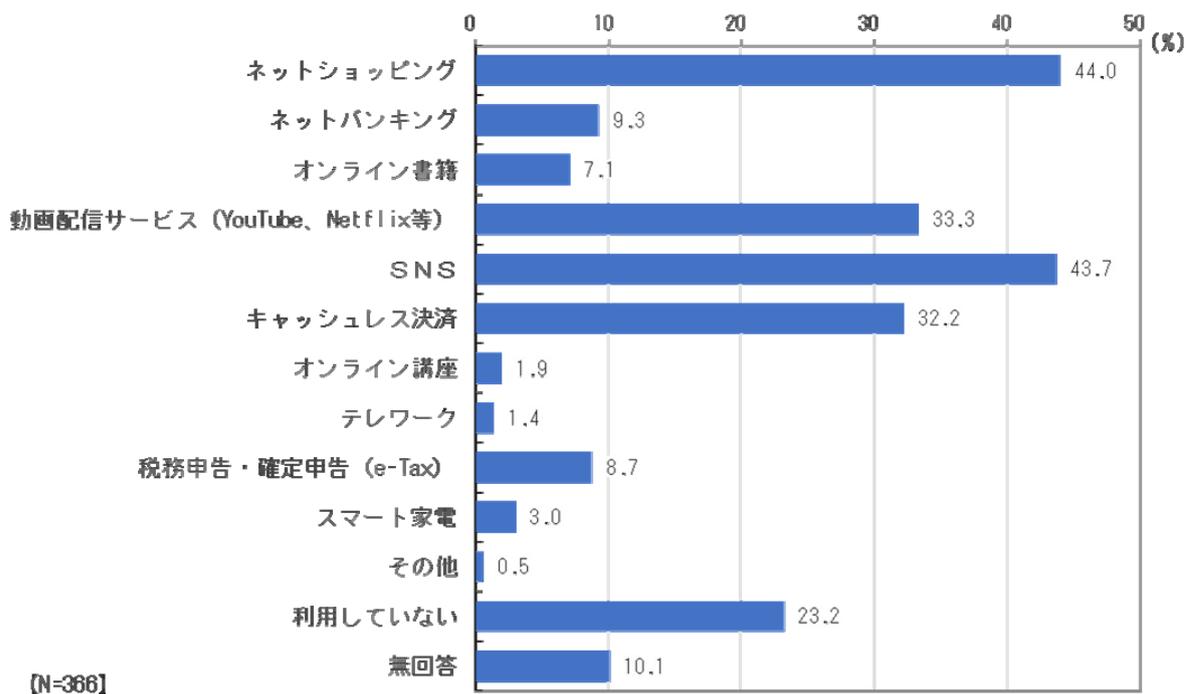
図 利用している通信機器



問18 あなたが利用しているサービスはどれですか

利用しているサービスは、「ネットショッピング」が44.0%、「SNS」が43.7%と多くなっており、以下、「動画配信サービス (YouTube、Netflix 等)」が33.3%、「キャッシュレス決済」が32.2%と続いています。「利用していない」は23.2%となっています。

図 利用しているサービス

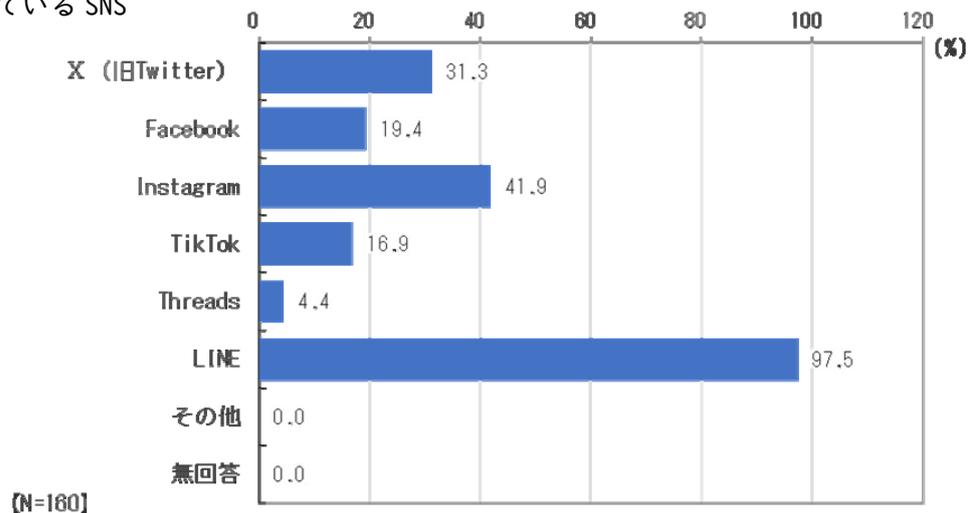


問18-1 あなたが利用しているSNSはどれですか

【問18でSNSと回答された方】《非該当：206件を除く》

利用しているSNSは、「LINE」が97.5%と最も多く、以下、「Instagram」が41.9%、「X（旧Twitter）」が31.3%、「Facebook」が19.4%、「TikTok」が16.9%と続いています。

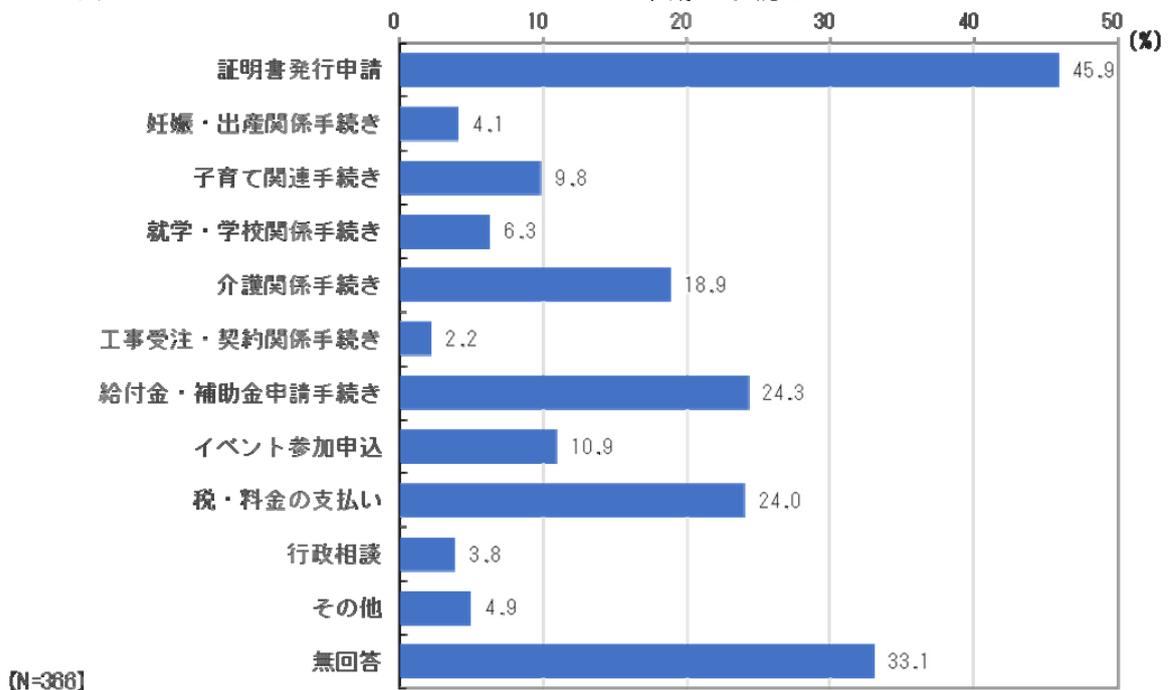
図 利用しているSNS



問19 オンラインで申請や手続きができるようになって欲しい(できる種類が増えて欲しい)申請や手続きはどれですか

オンラインでできるようになってほしい申請や手続きは、「証明書発行申請」でが45.9%と最も多く、以下、「給付金・補助金申請手続き」が24.3%、「税・料金の支払い」が24.0%、「介護関係手続」が18.9%と続いています。

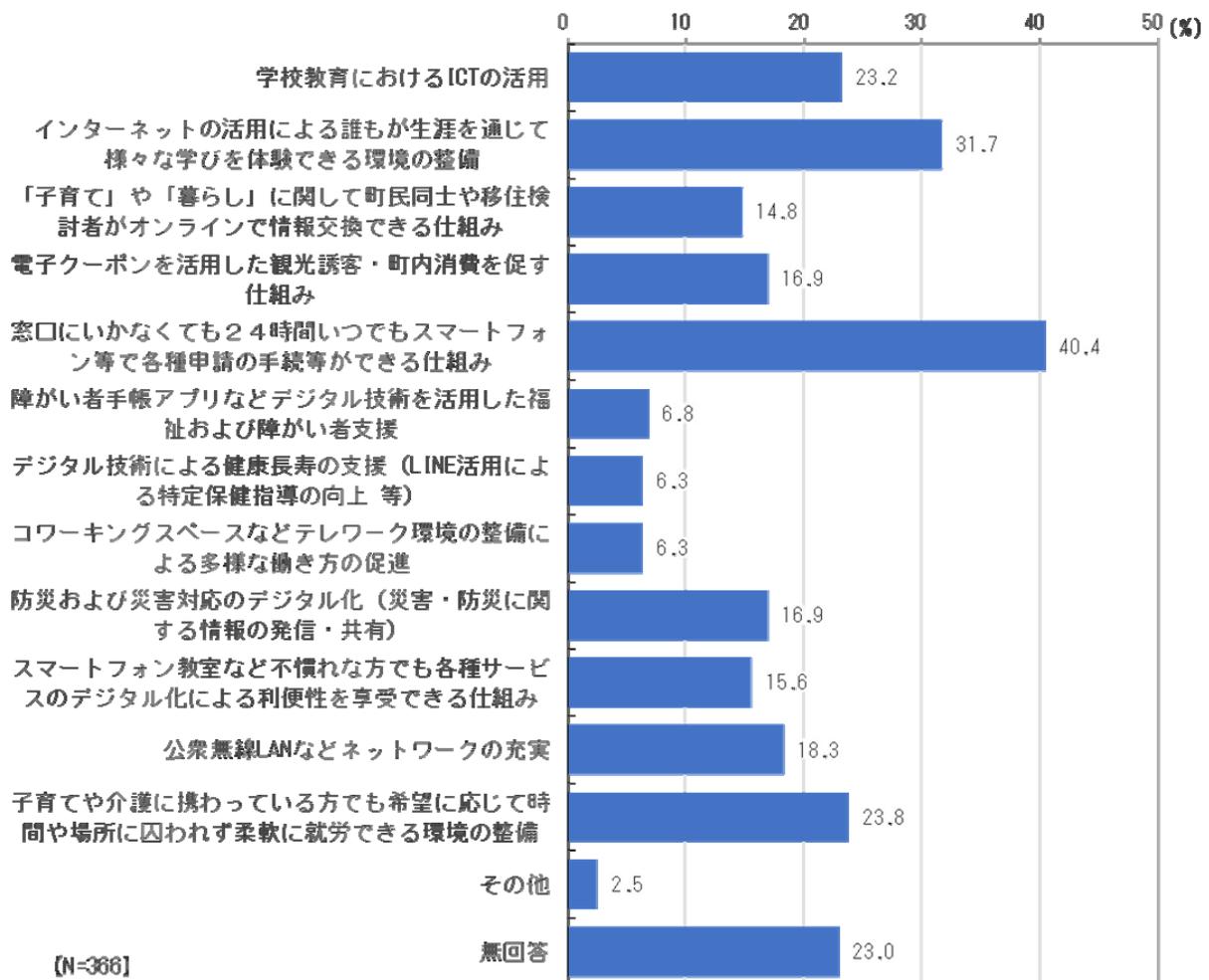
図 オンラインでできるようになってほしい申請や手続き



問 20 七宗町が、DX(情報通信技術などを活用すること)施策を推進していくにあたって、特に力を入れて欲しいことは何ですか

DX 施策で特に力を入れて欲しいことは、「窓口にいかなくても 24 時間いつでもスマートフォン等で各種申請の手続等ができる仕組み」が 40.4%と最も多く、以下、「インターネットの活用による誰もが生涯を通じて様々な学びを体験できる環境の整備」が 31.7%、「子育てや介護に携わっている方でも希望に応じて時間や場所に囚われず柔軟に就労できる環境の整備」23.8%、「学校教育における ICT の活用」が 23.2%と続いています。

図 DX 施策で特に力を入れて欲しいこと



6 自由意見

問21 七宗町のこれからのまちづくりで、重視すべきだと思うキーワードがあればお聞かせください(例:自然、自立、にぎわい、安全・安心 等)

<意見>

1 安定した雇用を創出する

○雇用の創出と人材育成の促進

- ・町内に工場を誘致してほしい。
- ・中小企業への支援が必要。
- ・働く場所がないため、過疎化が進む。
- ・企業を誘致し、雇用の場を増やしてほしい。
- ・若者が住みたくなる町づくりが必要。

○農林業の振興

- ・休耕地の整備や利用方法の検討を進めるべき。
- ・美しい川の復活には山林の整備、広葉樹の植林、里山整備、下水の整備が必要。
- ・獣害(猿、鹿、イノシシ)が増加しており、対策として柵の設置が必要。
- ・山林の適切な管理が求められる。

2 新しいひとの流れをつくる

○七宗町のPR

- ・七宗町には非常に良い景色があるので、それを活かした施設を造るべき。
- ・町の魅力を広く発信し、移住や観光を促進する必要がある。

○観光の振興

- ・イベントの参加者が年々減少しているため、新たな魅力を加え、マンネリ化を打破すべき。
- ・町外から人が来るような観光施設や、自然を活かしたアクティビティ(キャンプ、グランピング等)が必要。
- ・七宗町は通過する町になってしまっているため、観光やイベントでの誘客を強化すべき。
- ・廃校になった学校を宿泊施設として活用することで観光客を呼び込む。
- ・有名人を呼んでイベントを開催し、集客につなげるべき。

○移住・定住の促進

- ・空き家対策を進める必要がある。
- ・住民の要望に沿った店舗づくりが求められる。
- ・若者が住みたくなる環境づくりが必要。
- ・自然の魅力を活かしたまちづくりを進めるべき。

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○子育て支援の充実

- ・高齢者と子育て支援の両立が求められる。
- ・子どもが遊べる公園や教育環境の充実が必要。
- ・子育て世帯が安心して暮らせる町づくりを進めるべき。
- ・「子育てしやすい環境」を整えば、若者の流出を防げる可能性がある。

○児童保育・学校教育の充実

- ・学校教育の充実を求める声がある。
- ・小中学校の統合に伴う環境整備が必要。
- ・ICTを活用した教育の推進が求められる。
- ・子どもを育てやすい環境を整備することで、若い世代の定住を促すべき。

4 安心して快適な暮らしを守る

○安心・安全の確保

- ・町内の道路の二車線化を早急に進めてほしい。
- ・災害時の行政対応を迅速にしてほしい。
- ・上下水道の料金が他の町と比べて高い。
- ・照明が少なく、治安に不安を感じるため、街灯を増やしてほしい。
- ・山の木が伸びすぎており、日照が確保できないため、適切な伐採が必要。
- ・道路沿いの景観維持（草刈りや枝打ち）が求められる。
- ・防災の観点から、孤立を防ぐための道路整備を進めるべき。

○地域コミュニティの活性化

- ・公民館などで座談会を開き、住民同士が気軽に交流できる場があると良い。
- ・高齢者が交流できる場所の確保が必要。
- ・町民の意見が行政に反映されていないと感じる。住民参画の仕組みを強化すべき。
- ・町長や議員が町民の声をもっと聞く機会を増やすべき。

○生活利便性の向上

- ・日用品の購入が不便であり、買い物支援制度の充実を求める声がある。
- ・町内に商業施設が少なく、近隣市町村への買い物依存が高い。
- ・交通の利便性を向上させるための施策が必要。
- ・道路整備を進めることで、住民の移動を円滑にするべき。
- ・インフラ整備（通信環境、ライフライン）が必要。
- ・ゴミ袋の価格が高いと感じている町民が多い。

5 その他の意見

- ・七宗町は高齢者が47%と調査用紙に載っていた。47%の中にはいろいろな免許を持った人がたくさんいると思う。七宗町の高齢者の中にはそうした免許のある方がいると思う。困った方の手助けになる様な組織作りがあるといいと感じる。
- ・公民館とかに集まり座談会。むずかしい話ではなく「かもしかみた」「さるが作り物食べた」と話が出来る場があるといいです。
- ・高齢者を持つ家庭の援助や相談
- ・夜街灯がないことや、草が伸び放題の空き地などがあって怖い。治安のためにも明るい方がいいと思う。高齢化が進み高齢者が増えるので、気軽に運動できる施設やケアハウスがあると良いと思う。
- ・七宗町にはとてもよい景色があるのでそれを活かした施設を造る。
- ・中麻生に住んでいる私にとって神淵方面へいくとすごくさみしさを感じる。賑わいが欲しい。
- ・86歳です。主人と二人元気で毎日過ごしています。今のままで幸せです。
- ・隣の白川町その奥の東白川などはイベントにたくさんの人が街から来ている。七宗町は通過するだけと聞いた。
- ・イベントに有名人を呼んだり、毎年決まったイベントで集客できると良いと思う。
- ・飲食が出来る若い人が集まる場所がない。カフェとか。一つでは足りない。古民家を利用したカフェなどがあると町外から人が来ると思う。
- ・自然を活かしたアクティビティーや大きな公園やキャンプやグランピング出来る場所がほしい。
- ・星空が美しい。安全。田舎者。
- ・行政で色々企画、実行しても何事も長続きしない。
- ・地震に強く津波が来ないところが強み。そこを活かした企業の誘致。
- ・人口減少は止めることは出来ないと思う。働く場所もないので仕方がない。他町村との合併を模索すべき。
- ・自然豊かなところに魅力を感じて移住してきたが人口減少が早くいつか消滅してしまうのではという不安がある。若い世代が住みやすい環境作りをしなければならない。
- ・早い時期に川辺町と総合協力出来ればした方がいい。
- ・草刈り隊のようなものがあれば少額の有料でも良いので草刈りをやってもらえると助かる。
- ・自然が豊かなことは良いことだと思うが、昔(40数年前)は、お茶畑がとても整備されていて、写真を撮ってみえる方もいたが、今はどうか。荒れ放題でとてもいい景観とはいえない。先人がきれいにした茶畑をなんとか取り戻すことはできないか。(3年番茶はその間は伸び放題で景観が悪い)

- ・コロナでの規制が緩和され以前の様な生活が戻りつつある。その中で思うのが「にぎわい」がなくなっていること。毎年のように行っていた「いこ舞、夏祭り」が行われないことで夏休みを過ごす子供や子育てをしている家族、お祭りが大好きな方々がさびしい夏を過ごしていると思う。私も地元の夏祭りが無いのはとても寂しいし、夏を過ごした気にならない。「にぎわい」を取り戻すにはお祭りだけでは足りないかもしれないが、1年の中で一大イベントがあるのとならないのでは大きく違ってくると思う。お祭りは要らないものではない。お金などかかってはしまうが、この自然あふれる七宗町に暮らす住民のみなさんのことを第一に考えて頂きたい。というより、それが街づくりをする上で一番大切。
- ・最近納古山に登る人が多くなっていると思う。コースの整備や待避所などあるのか？
- ・文化財の保護
- ・上麻生の公園に入る道路がゴテゴテで車で入りにくいので少し直して欲しい。
- ・町民の意見が行政に反映されていない。空き家が多くあるのにどうして町営住宅を作るかわからない。
- ・予算を生む。現在圧倒的に予算が少ない。そのため今後の町政は予算を生む経営者感覚の運営とすべきと考える。特に具体策は今のところ持っていないが、新しい考え方をもち起業家を探すことや先端技術の活用が必要と思う。
- ・自然環境が良いのは手つかずの自然が良いところも人間がかかわって手入れをして保つ必要のある所もある。雑草でさえ刈っても刈っても伸びてくる自然の再生力は考えようでは素晴らしいとも思える。高齢化社会なら高齢者のパワーを十分活用して活気のある街作りをしたいものだ。高齢者に言いたいことは病気でもないのに動かないで家の中でじっとしていたら体力が衰えて病気になってしまう。七宗町は訪れる人は少ないとも通過する人は相当な人数になる。それだけこの町は多くの人の目に触れているということ。道ばたのポイ捨てのゴミの他、道路の白線の消えているところ、防火水槽の看板の色落ち、消防ホースの収納庫の塗装の劣化は印象がよくない。
- ・自然と調和の取れたまちづくり

問 22 七宗町のまちづくりについて、ご意見やアイデアがあれば、以下に記入してください。

<意見>

1 安定した雇用を創出する

○雇用の創出と人材育成の促進

- ・町内に雇用の場が少なく、若者が町を離れる。
- ・商業施設が少なく、日常の買い物が困難。
- ・住民減少を食い止めるための具体的な施策が見えない。
- ・工場や中小企業の誘致を進め、町内で働ける環境を整備する。
- ・ショッピングセンターやドラッグストアなどの誘致を検討する。
- ・町内で起業する人を増やすための補助金制度を拡充。
- ・DX（デジタル技術）を活用した新たなビジネスモデルの導入。

○農林業の振興

- ・耕作放棄地が増加し、農地の有効活用が進んでいない。
- ・野菜売り場の維持が難しく、農業従事者の減少が課題。
- ・獣害（猿、鹿、イノシシ）の被害が増加している。
- ・新規就農者支援や、企業との連携による農地活用プロジェクトの推進。
- ・被害地域への柵の設置や、狩猟活動の強化。
- ・七宗町ならではの農産物をPRし、付加価値を高める。
- ・木材加工産業の振興や、林業の活性化に向けた施策を検討。

2 新しいひとの流れをつくる

○七宗町のPR

- ・七宗町の魅力が十分に発信されておらず、認知度が低い。
- ・道の駅や観光施設が十分に活用されていない。
- ・SNSや動画コンテンツを活用し、町の魅力を発信する。
- ・特産品販売コーナーの設置や、情報発信基地としての機能強化。
- ・「石の町」としてのPRを強化し、ロッククライミング施設などの設置を検討。

○観光の振興

- ・観光資源があるにもかかわらず、活用されていない。
- ・観光イベントが減少し、町外からの誘客が進んでいない。
- ・観光施設のリニューアル：石の博物館の活用方法を見直し、特産品販売や体験型観光を取り入れる。

- ・ハイキングコースの整備、花の名所化、キャンプ場の設置などを検討。
- ・廃校活用を行い、宿泊施設や体験型観光施設としての活用を推進。
- ・有名人を招いたイベントの開催や、コスプレロケ地としての活用を検討。

○移住・定住の促進

- ・空き家の増加に伴い、環境が悪化している。
- ・町外からの移住者を受け入れる仕組みが不足している。
- ・空き家バンクのオンライン申請の導入や、空き家リノベーション支援の拡充。
- ・移住者向け支援として補助金制度の拡充や、移住体験ツアーの開催。
- ・安価な町営住宅の建設や、買い物環境の整備。

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○子育て支援の充実・○児童保育・学校教育の充実

- ・子育て支援が不足しており、子育て世代が町を離れる。
- ・教育環境の充実が求められている。
- ・子ども医療費の助成、保育園の統合、育児給付金の増額などを検討。
- ・子どもが遊べる場所の整備し、公園や支援センターの充実を図る。
- ・教育環境の整備として ICT 教育の推進、学校施設のリニューアルを検討。

4 安心して快適な暮らしを守る

○安心・安全の確保

- ・町内の道路が狭く、整備が進んでいない。
- ・高齢者の移動手段が不足している。
- ・可児七宗線や町内幹線道路の二車線化を進める。
- ・移動販売車の導入や、高齢者向けの送迎サービスを強化。

○地域コミュニティの活性化

- ・住民同士の交流が減少し、地域のつながりが希薄化している。
- ・町政への意見が反映されにくい。
- ・座談会の開催、地域交流イベントの強化。
- ・アンケート結果のフィードバックを行い、住民の意見を町政に反映させる。

○生活利便性の向上

- ・買い物環境が不便で、特に高齢者の負担が大きい。
- ・ATM や役所手続きの利便性が低い。
- ・ドラッグストアやスーパー、コインランドリーの設置を検討。
- ・行政サービスの改善として、オンライン申請やキャッシュレス決済の拡充。

- ・ごみステーションの増設や、収集方法の見直し。

5 その他の意見

- ・先日、美濃加茂市の市役所設置委員の方の話を聞いた。なかなか出席する人が少ないとぼやいていた。東白川村の人は村をよくする為に昔からいろんな役職を体験した人たちでよくする会があるよう。それに参加すると言っていた。村としては大変良いことだと感じた。
- ・住民が住みやすいと感じられる街作りを第一に考える。
- ・当町は都会にない恵まれた自然、景観が魅力とあるが、本当にそうなのか。自然を維持する為に力を入れられているのか疑問に感じる。
- ・財政は苦しいと思うが、費用を捻出してもらいたい（町民には金券の配布は不要に思います。一時的であり、将来につながらないと思う。）
- ・夏に子供が楽しめるイベントがほしいです。
- ・全国的に人口減少が進んでいるから、減っていくことを前提にしたまちづくりをすべき。減らないようにするには子供が産まれたら支援金を配るなどすべき。
- ・人と人との繋がりがなくなりつつある。地域の人とのコミュニケーションが減ってると思う。貸店舗に様々な業種を誘致すべき。
- ・商店街がなくなり魅力ない町になってしまい寂しい。
- ・人口減少は止められないので幸福な街作りを進めるべき。子育てしやすく老人が自立できる街づくりを。
- ・若者が住みたくなるように、お店や施設の充実。保育士の支援など
- ・自然の花が咲くとき、名所としてマスコミにPRする。例えば写真を道の駅の一部、外から見えるところに掲示、話題で広がるかも。とにかく道の駅を利用して改善して欲しい。人が多く立ち寄る利用活用。
- ・子供の人数が少ないが、もっと子育て、教育に力をいれてほしい。子供を連れて支援センターなどに遊びに行くが、先生やお母さんたちと話す中で、保育園も人数が少ないのに、なぜ一緒に（総合）しないのか？などよく話している。子育てする親の思いなどが町に届きやすくして欲しい。
- ・道の駅の運営をしっかりとる。外から店の中が見づらい。野菜売り場が暗い、夏休み、春休み石博のシアターを使って映画館にしてはどうか。
- ・私はお買い物バスは利用していないが、マツオカへ行く時間が早すぎて、まだおかず等が作ったものが並んでいない。もう少し時間を遅く店につくようにしてほしいと利用者が言っている。又、ピアゴにもいってほしい（神淵の人が利用するバスも）
- ・毎度アンケートをとるけど、何の役に立っているのか分からないので、アンケートのグラフでは改善できたことの報告がほしい。もっと町をあげていい物ができるように全力を出して欲しい。
- ・石の博物館なんて無駄！！魅力すらない！！何か他の施設に建て替えるべき。七宗は子供の遊ぶ場がない！！ほんとになんとかしてほしい！！

- ・意見箱を作り小さな情報を最も知って欲しい。
- ・今回このような意識調査を行って、たくさんの住民の意見がでると思う。そのアイデア、ご意見の一つ一つをしっかりと読んでもらい、何一つとして見落としがないようにしてもらいたい。アンケートをもらった。ここの改善、アイデアが多いからここだけをやっつけて。ではなく、すべての意見、改善、アイデアを誠心誠意受け止めて全力で取り組んでもらいたい。私たちの想いや考えを無駄にしないでほしい。
- ・野菜売り場（道の駅）維持していく為には気軽に野菜の指導に来てくれる普及員が町内にいてありがたい。今まで野菜作りにかかわっていなかった人たちが職を辞した時、講習や指導に力を入れてもらえれば出荷者の存続につながると思う。
- ・人口が少ない分、一人一人への支援の充実
- ・前回にもアンケートを提出したことを覚えているが、アンケートを書いただけで後のことは何もなかった。75歳以上の方達でも元気な方多い。何かをやりながら皆で楽しむ。一日一日を大切に。若い方達のお手伝いは出来ると思う。
- ・少子高齢化の中、大変な町政運営となるが、若い人のアイデアを大胆に採用して変革して欲しい。
- ・インターネットサービスを近隣町村と同じに合わせて欲しい。役場の方を地域にみえる方が有利になるようにしてほしい。（再雇用、臨時雇用など）町民の方だったり、知っている方が見えると安心する。働く所がないのに町外から人をとらなくてもいいと思う。
- ・街作り専門家派遣してもらって、新しいアイデアを考えてもらいたい。
- ・人間の目は自分の見たい物しか見えていない。公共の施設のどこかが壊れていても誰も気がつかないか誰もアクションをおこさない事。七宗町の最寄り駅は上麻生駅。つまり町の玄関。以前プラットフォームの駅名標の大きな文字が半分消えかかっていた。他の駅では完全に消えて駅名が読めないものもあった。これは個人で通報さえすれば改善される。最近では訪日観光客が列車の乗客に多く見かける。通過するだけであっても、駅前の賑わいから町の財政まで判断される。自然においては河川がある。飛騨川は川辺町とは対照的で七宗町では溪谷美にあふれ流れも急で見所満載だから、気軽に立ち寄れる環境整備をしないといけないと思う。
- ・今まで高齢者を主とした施設や支援が中心だった様だ。街作りの基本は20歳から60歳を対象とした施設や支援が必要だと思う（例えば入浴施設を曜日毎に性別、年齢別などで運営するとか？）
- ・道の駅が折角あるのにあまり次に行きたい！！と思うところが少なく、もったいないとおもうので、道の駅をもう少し若い人にもファミリーにも高齢者にも楽しめる場所、食品などをもう少し見直したらいいと思う。若い人たちの意見をもう少し取り入れると良いと思う。
- ・私は高齢者であり、昭和から令和まで生きている。昔を知る者には便利で良い社会だが、お金が必要な難しい時代だと思う。子供達に頼れない時代でもある。

- ・高齢社会の中で情報通信など高齢者が活用出来る社会にするためどう考えていくのかどう導いていくのか。
- ・若い人が働ける街作りが必要。目に見える振興策を出して欲しい。
- ・各地区に活動費を交付し、区長を中心に地域活動を行う
- ・このようなアンケートでは、どの年齢層の人でも回答しやすいように選択肢を工夫したほうが良いと思います。
- ・1ヶ所で手続きやATMなど買い物ができる
- ・人が自然とあつまる場所があるといいと思います。
- ・子育てに関する費用の無料化
- ・隣接市町村より生活費が少なくなるような制度
- ・前まで開催されていた、『いこ舞』みたいな町を盛り上げるイベントがあるといい。子供達にとってもすごくいい思い出になると思います。
- ・回覧板の廃止→会報やポスティング、メールやLINEなどへ移行（家ごとのタイムラグ無駄）
- ・草刈り、お宮掃除→業者依頼（現在のまま町民が行うならば時給払うようにする）
- ・草刈り、お宮掃除→業者依頼（現在のまま町民が行うならば時給払うようにする）
- ・お祭りを復活させる（地域活性化・文化継承の為、できる限り祭やイベントは開催する）
- ・道路の白線薄くなっている所あり→交通安全上ははっきりとしていることが望ましい
- ・交通安全などの「のぼり」「旗」は意味がないし景観的に良くないので廃止したらどうか
- ・町の統廃合
- ・自然を活かした施設作り
- ・まちづくりのリーダーを町外から来てもらう事が一番先にやることだと考えています。

資料編

アンケート票

まちづくりや生活環境などに関する意識調査

日頃は、町政に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、国では人口減少、少子高齢化の問題について様々な取組が行われているところです。

七宗町でも、人口が減少し続け、同時に高齢化のスピードも増し、少子・高齢化が進行する中、令和 2 年度に「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口の減少や流出を少しでも抑制するとともに、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力あるまちを維持していくための取組を進めているところです。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の流れは依然として続いており、今後も一層の取組が求められていることから、このたび、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直しを行います。

また、平成 28 年 4 月に策定した「七宗町第五次総合計画」の計画期間は、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間であり、このアンケート調査は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「七宗町第六次総合計画」の策定にあたっての検討を行ううえで、町民の皆さまに七宗町のまちづくりや生活環境などに関するご意見・ご意向を伺い、計画に反映させるために実施するものです。

つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 7 月 七宗町長 加納 福明

【回答方法】いずれかの方法で、アンケートにご回答ください。

① 郵送で回答

- ・アンケート調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函してください。

② WEB で回答

- ・右の画像を読みとり、WEB サイトにアクセスしてください。
- ・読み取れない場合は、下記の URL を直接入力してアクセスしてください。
<https://x.gd/TGKJr>
- ※ 5～10 分程度で回答していただくことができます。

【調査対象及び留意点】

- ※ 本アンケートは、七宗町内にお住まいの 16 歳以上の方を無作為に抽出した 1,000 名を対象に実施しております。
- ※ 調査票上部に記載の回答番号は、郵送回答と WEB 回答の重複を避けるためのものです。

提出日 〆切
~2024.8/13(火)



【 問い合わせ先 】

七宗町役場ふるさと振興課 振興係

電話：0574-48-2291 FAX：0574-48-2239 メール：furusatoshinko@hichiso.jp

1 あなたご自身について

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。
(アンケートご記入時点の状況でご回答ください。)

(1)性別	1 男性 2 女性 3 その他・回答しない
(2)年齢	1 16歳～19歳 2 20歳～29歳 3 30歳～39歳 4 40歳～49歳 5 50歳～59歳 6 60歳～64歳 7 65歳～69歳 8 70歳以上
(3)住まいの地区	1 神淵地区 2 上麻生地区 3 川並地区 4 中麻生地区
(4)職業	1 農林水産業 2 会社員・会社役員 3 公務員・団体職員 4 自営業(商店・工場・家族従業者含む) 5 専門職(医師・弁護士・税理士等) 6 自由業(作家・芸術家等) 7 パート・アルバイト 8 家事(主婦・主夫) 9 学生 10 無職 11 その他()
(5)通勤・通学先	1 七宗町内 2 七宗町外の岐阜県内市町村 () 3 岐阜県外() 4 自宅(自営業所)
(6)家族構成	1 ひとり暮らし 2 夫婦ふたり暮らし 3 親と子の世帯 4 親世帯と同居(二世帯) 5 子世帯と同居(二世帯) 6 親世帯と子世帯と同居(三世帯) 7 その他()
(7)お住まいの住宅	1 持ち家 2 借家 3 家族の持ち家(親の家等) 4 会社の寮や社宅 5 その他()
(8)七宗町内における居住年数	1 1年未満 2 1～5年未満 3 5～10年未満 4 10～20年未満 5 20年以上
(9)世帯の総年収 (税控除前の総収入額)	1 100万円未満 2 100～200万円未満 3 200～300万円未満 4 300～400万円未満 5 400～600万円未満 6 600～800万円未満 7 800～1,000万円未満 8 1,000万円以上

2 七宗町での暮らしについて

問2 あなたは、七宗町を総合的にみて、住みやすいまちだと思いますか。〈1つに○印〉

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 大変住みやすい | 2 まあまあ住みやすい |
| 3 住みにくい | 4 大変住みにくい |
| 5 どちらともいえない | |

問3 あなたは、今後も七宗町に住み続けたいと思いますか。〈1つに○印〉

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 ずっと住み続けたい ⇒問3-①へ | 2 できるだけ住み続けたい ⇒問3-①へ |
| 3 できれば転居したい ⇒問3-②へ | 4 転居したい ⇒問3-②へ |
| 5 どちらともいえない ⇒問4へ | |

⇒問3-① 問3で1または2（住み続けたい）と回答された方におたずねします。

その理由は何ですか。〈2つまで○印〉

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1 住環境が良い（静か、美しい、安全 等） | |
| 2 教育・学習環境が良い | |
| 3 医療・福祉環境が良い | |
| 4 自然環境が良い | 5 就業環境が良い |
| 6 スポーツ・レクリエーション環境が良い | 7 交通の便が良い |
| 8 日常の買い物の便が良い | 9 歴史・伝統が豊か |
| 10 町のイメージが良い | 11 住み慣れている |
| 12 住宅を購入している（持ち家がある） | |
| 13 その他（ | ） |

⇒問3-② 問3で3または4（転居したい）と回答された方におたずねします。

その理由は何ですか。〈2つまで○印〉

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1 住環境が悪い（騒がしい、汚い、危険 等） | |
| 2 教育・学習環境が悪い | |
| 3 医療・福祉環境が悪い | |
| 4 自然環境が悪い | 5 就業環境が悪い |
| 6 スポーツ・レクリエーション環境が悪い | 7 交通の便が悪い |
| 8 日常の買い物の便が悪い | 9 歴史・伝統が乏しい |
| 10 町のイメージが悪い | 11 土地柄に馴染めない |
| 12 町外に住宅を購入している・親族がいる | |
| 13 その他（ | ） |

問4-① あなたは、身の周りの生活環境について、どの程度満足されていますか。

<それぞれの項目について1つに○印>

<記入例>

項目	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
1 車での移動の利便性 (地域間を結ぶ道路や集落内の道路の広さ、舗装 等)	○1	2	3	4	5
2 歩行の安全性 (歩道の有無、広さ 等)	1	2	○3	4	5
3 夜道の安全性 (街路灯の数、明るさ 等)	1	2	3	4	○5

項目	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
1 車での移動の利便性 (地域間を結ぶ道路や集落内の道路の広さ、舗装 等)	1	2	3	4	5
2 歩行の安全性 (歩道の有無、広さ 等)	1	2	3	4	5
3 夜道の安全性 (街路灯の数、明るさ 等)	1	2	3	4	5
4 鉄道やバスの利用のしやすさ (通行本数、車両環境 等)	1	2	3	4	5
5 日常の買い物の利便性 (商店の数、品揃え 等)	1	2	3	4	5
6 憩いや外遊びの場の充実度 (公園の数、遊具の種類 等)	1	2	3	4	5
7 下水道の充実度 (合併処理浄化槽の有無 等)	1	2	3	4	5
8 上水道の充実度 (簡易水道の水量、水質 等)	1	2	3	4	5
9 高度情報化社会への対応度 (インターネット回線の有無、速度 等)	1	2	3	4	5
10 廃棄物対策の充実度 (ごみの収集回数、収集場所 等)	1	2	3	4	5
11 公害の少なさ (騒音、振動の大きな工場や不法投棄の有無 等)	1	2	3	4	5

項目	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
1 2 鳥獣被害の少なさ (防護柵の有無、鳥獣の捕獲 等)	1	2	3	4	5
1 3 自然環境の豊かさ (河川の美しさ、山林荒廃化の有無 等)	1	2	3	4	5
1 4 災害に対する安全性 (土砂災害対策の有無、消防体制 等)	1	2	3	4	5
1 5 就業の利便性 (働く場の多さ 等)	1	2	3	4	5
1 6 子育てや教育のしやすさ (保育所や学校の数、保育サービス 等)	1	2	3	4	5
1 7 生涯学習や芸術・文化活動の利便性 (生涯学習施設や文化施設の数、講座内容 等)	1	2	3	4	5
1 8 医療の充実度 (診療施設の数、救急医療体制 等)	1	2	3	4	5
1 9 高齢者福祉の充実度 (福祉施設の数、介護サービス 等)	1	2	3	4	5
2 0 住民同士のふれあいや連帯活動の充実度 (自治会活動の多さ、集会施設的环境 等)	1	2	3	4	5
2 1 まちづくりへの参加のしやすさ (役場からの情報提供、活動支援)	1	2	3	4	5

問4-② あなたは、身のまわりの生活環境について、今後どの程度重要とお考えですか
 <それぞれの項目について1つに○印>

<記入例>

項目	重要	まあまあ重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
1 車での移動の利便性 (地域間を結ぶ道路や集落内の道路の広さ、舗装 等)	○1	2	3	4	5
2 歩行の安全性 (歩道の有無、広さ 等)	1	2	○3	4	5
3 夜道の安全性 (街路灯の数、明るさ 等)	1	2	3	4	○5

項目	重要	まあまあ重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
1 車での移動の利便性 (地域間を結ぶ道路や集落内の道路の広さ、舗装 等)	1	2	3	4	5
2 歩行の安全性 (歩道の有無、広さ 等)	1	2	3	4	5
3 夜道の安全性 (街路灯の数、明るさ 等)	1	2	3	4	5
4 鉄道やバスの利用のしやすさ (通行本数、車両環境 等)	1	2	3	4	5
5 日常の買い物の利便性 (商店の数、品揃え 等)	1	2	3	4	5
6 憩いや外遊びの場の充実度 (公園の数、遊具の種類 等)	1	2	3	4	5
7 下水道の充実度 (合併処理浄化槽の有無 等)	1	2	3	4	5
8 上水道の充実度 (簡易水道の水量、水質 等)	1	2	3	4	5
9 高度情報化社会への対応度 (インターネット回線の有無、速度 等)	1	2	3	4	5
10 廃棄物対策の充実度 (ごみの収集回数、収集場所 等)	1	2	3	4	5
11 公害の少なさ (騒音、振動の大きな工場や不法投棄の有無 等)	1	2	3	4	5

項目	重要	まあまあ重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
1 2 鳥獣被害の少なさ (防護柵の有無、鳥獣の捕獲 等)	1	2	3	4	5
1 3 自然環境の豊かさ (河川の美しさ、山林荒廃化の有無 等)	1	2	3	4	5
1 4 災害に対する安全性 (土砂災害対策の有無、消防体制 等)	1	2	3	4	5
1 5 就業の利便性 (働く場の多さ 等)	1	2	3	4	5
1 6 子育てや教育のしやすさ (保育所や学校の数、保育サービス 等)	1	2	3	4	5
1 7 生涯学習や芸術・文化活動の利便性 (生涯学習施設や文化施設の数、講座内容 等)	1	2	3	4	5
1 8 医療の充実度 (診療施設の数、救急医療体制 等)	1	2	3	4	5
1 9 高齢者福祉の充実度 (福祉施設の数、介護サービス 等)	1	2	3	4	5
2 0 住民同士のふれあいや連帯活動の充実度 (自治会活動の多さ、集会施設的环境 等)	1	2	3	4	5
2 1 まちづくりへの参加のしやすさ (役場からの情報提供、活動支援)	1	2	3	4	5

3 結婚について

問5 あなたは、ご結婚されていますか。〈1つに○印〉

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 既婚（結婚している） | → 問5-①へ進んでください |
| 2 未婚（結婚していない） | → 問5-②へ進んでください |
| 3 回答しない | → 問6へ進んでください |

問5-① 〈問5で「1」と回答された方におたずねします。〉

あなたは、何歳で結婚されましたか。

 歳

問5-② 〈問5で「2」と回答された方におたずねします。〉

あなたが、結婚していない主な理由はどのようなことですか。〈3つまで○印〉

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 結婚するには若すぎるから | 2 結婚する必要性を今は感じないから |
| 3 今は、仕事（学業）に打ち込みたいから | 4 結婚したいと思う相手にまだめぐり逢わないから |
| 5 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから | 6 結婚資金が足りないから |
| 7 独身の自由さ・気楽さを失いたくないから | 8 結婚生活のための住居の目途がたないから |
| 9 結婚後の収入に不安があるから | 10 交際相手が結婚をまだ望んでないから |
| 11 親や周囲が結婚に同意しないから | 12 異性とうまく付き合えないから |
| 13 その他（ ） | |

問6 結婚しない人や、晩婚の人が増えていると言われていた中で、それらの主な原因は何だと思いますか。〈2つまで○印〉

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 異性と知り合うゆとりや機会が少ない | 2 一人でも十分な生活が送れる |
| 3 束縛されず、自由な生き方を望む人が増えている | 4 対人関係が煩わしく、苦手な人が増えている |
| 5 フリーターや所得が低い人が増えている | 6 女性の地位向上や高収入化が進んでいる |
| 7 親から自立できない人が増えている | 8 子どもを欲しいと思わない人が増えている |
| 9 適当な相手を探す手段が無い | 10 結婚する必要性を感じない |
| 11 両親の世話をする人が増えている | 12 その他（ ） |

問7 一般的に、結婚適齢期は何歳だと思いますか。

 歳（任意）

問8 結婚したい人が結婚するためには、どのような支援が必要だと思いますか。

〈2つまで○印〉

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 異性と巡り合う機会の提供 | 2 仲人役が異性を紹介する支援 |
| 3 結婚についての相談体制の整備 | 4 結婚支援についての情報提供 |
| 5 仕事と家庭生活の両立支援 | 6 就労についての支援 |
| 7 結婚活動に関する講座・セミナーの充実 | 8 その他（ ） |

4 子ども・子育てについて

問9 あなたには、お子さんはいらっしゃいますか。〈1つに○印〉

- | | |
|---------|------------------|
| 1 いる | → 問9-①～④へ進んでください |
| 2 いない | → 問10へ進んでください |
| 3 回答しない | → 問10へ進んでください |

問9-① (問9で「1」と回答された方におたずねします。)

あなたのお子さんの数、またお生まれになったのはあなたが何歳のときですか。

子どもの数	1 1人	2 2人
〈1つに○印〉	3 3人	4 4人以上(人)
お生まれになったときの あなたの年齢	1人目(歳)	2人目(歳)
	3人目(歳)	4人目(歳)

問9-② (問9で「1」と回答された方におたずねします。)

あなた若しくは配偶者が妊娠・出産にあたり、不安なことはありましたか。

〈2つまで○印〉

1 自身・配偶者の年齢的なこと	2 自身・配偶者の体調のこと
3 経済的なこと	4 住宅環境のこと
5 産まれる子どものこと	6 協力者がいないこと
7 育児のこと	8 仕事(学業のこと)
9 出産する施設のこと	10 その他()

問9-③ (問9で「1」と回答された方におたずねします。)

子育てについて、不安なことはありますか。〈2つまで○印〉

1 子育てを助けてくれる人がいない	2 子育ての仕方が分からない
3 子どもの育ちに不安	4 預かってくれる人がいない
5 配偶者の協力が無い	6 相談者がいない
7 自分の時間が確保できない	8 夫婦二人の時間が確保できない
9 子育て関連の施設がどこにあるか 分からない	10 その他()

問9-④ (問9で「1」と回答された方におたずねします。)

子育て情報を得るために利用したことがあるものは何ですか。

<2つまで○印>

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 親・兄弟・姉妹・親戚 | 2 近所の知人 |
| 3 友人 | 4 書籍・雑誌・新聞 |
| 5 かかりつけの医師 | 6 保育園・幼稚園 |
| 7 町の子育て関連担当窓口 | 8 インターネット |
| 9 情報を得る手段が分からない | 10 その他 () |

問10 安心して子どもを産むためには、どのような支援が必要と思いますか。

<2つまで○印>

- | |
|------------------------|
| 1 出産や子育てに関する相談体制の整備 |
| 2 妊娠・出産のための経済的な支援 |
| 3 子育てのための経済的な支援 |
| 4 保育(託児)サービスの充実 |
| 5 職場における理解や支援 |
| 6 教育費の経済的な支援 |
| 7 地域や社会全体での子育ての支援体制 |
| 8 他の妊婦・子育て中の親との交流の場の提供 |
| 9 育児・家事に関する家族等の支援 |
| 10 わからない |
| 11 その他 () |

5 今後のまちづくりについて

問11 あなたは、七宗町の今後のまちづくりについて、どの分野に力を入れるべきかとお考えですか。〈1つに○印〉

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 生活基盤の分野（道路、公園、上下水道、情報通信 等） |
| 2 | 生活環境の分野（環境対策、交通安全、防災、等） |
| 3 | 教育・文化の分野（学校教育、生涯学習、国際交流 等） |
| 4 | 医療・福祉の分野（高齢者支援、子育て支援、健康づくり 等） |
| 5 | 産業の分野（農林水産業、観光、雇用対策 等） |
| 6 | 行財政の分野（住民参画、行政組織、財政運営 等） |

問12 あなたは、まちづくりの分野（生活基盤、生活環境、教育・文化 等）それぞれについて、どんな取組が重要だとお考えですか。〈それぞれの項目について1つに○印〉

■生活基盤の分野	1 道路・交通網の整備 2 公園の整備 3 上下水道の整備 4 高度情報通信網（インターネット環境）の充実 5 その他（ ）
■生活環境分野	1 自然環境・風景の保全 2 環境衛生対策（ごみの適正処理・減量化、公害防止 等）の充実 3 交通安全、防犯対策の充実 4 消防、防災対策の充実 5 その他（ ）
■教育・文化の分野	1 学校教育の充実 2 生涯学習、生涯スポーツの推進 3 歴史・文化の振興（芸術・文化活動の充実、文化財の保護・活用 等） 4 時代に合った人材育成（国際交流、男女共同参画 等） 5 その他（ ）
■医療・福祉の分野	1 高齢者支援の充実 2 障がい者支援の充実 3 子育て支援の充実 4 医療、健康づくり支援の充実 5 その他（ ）
■産業の分野	1 農林水産業の振興 2 商工業の振興 3 観光の振興 4 雇用対策の充実 5 その他（ ）
■行財政の分野	1 行政組織の充実 2 効率的な財政運営 3 周辺市町村との連携・役割分担 4 住民参加の促進 5 その他（ ）

問13 七宗町では、65歳以上の人口割合が48%を超えており、超高齢者社会に直面しています。そのため、今後は、高齢者が安心して生き生きと暮らせるまちづくりが重要です。

あなたは、高齢者支援として、どんな取組が重要だとお考えですか。〈2つまで〇印〉

- 1 老人ホームなどの入所・通所介護サービスの充実により、介護が必要な高齢者の生活を支援
- 2 就業機会の確保などにより、高齢者の社会参加を支援
- 3 軽スポーツの場の整備や健康診断・健康相談の充実などにより、高齢者の健康づくりを支援
- 4 災害時の緊急通報体制の整備などにより、地域ぐるみで高齢者を支援
- 5 公共交通の充実や公共施設のバリアフリー化などにより、高齢者の自立した生活を支援
- 6 その他 ()

問14 七宗町は、令和2年の国勢調査によると総人口が3,402人であり、民間研究所の推計によると、今後2050年までにはさらに人口は減少していく見込みである。人口減少の大きな要因は、若者流出と少子高齢化です。そのため、今後は、若者が暮らし続けたい、子どもを産み育てやすいまちづくりが重要です。

あなたは、若者定住・少子高齢化対策として、どんな取組が重要だとお考えですか。

〈2つまで〇印〉

- 1 働く場の確保や起業支援などにより、就業を充実
- 2 保育料の補助や育児相談体制の充実などにより、育児・保育を支援
- 3 医療費補助や健康診断・健康相談の充実などにより、母子の健康づくりを支援
- 4 若者向けの住宅の整備や空き家の斡旋などにより、住宅環境を支援
- 5 保護者の負担軽減や魅力ある学習機会の提供などにより、教育を支援
- 6 その他 ()

問15 七宗町は、面積の約91%が森林であり、都会には無い恵まれた自然・景観が大きな魅力です。全国的には、自然破壊・景観悪化・地球温暖化など、環境に関する問題がクローズアップされています。そのため、今後は、環境に配慮したまちづくりが重要です。

あなたは、環境対策として、どんな取組が重要だとお考えですか。〈2つまで〇印〉

- 1 河川環境の保全や森林の荒廃化悪化防止などにより、自然・景観を維持
- 2 里山の整備や自然を活かしたイベントの充実などにより、自然との関りを強化
- 3 空き家対策や清掃活動の促進などにより、街並みを保全・美化
- 4 ごみ減量化・リサイクルや木材の地産地消などにより、限りある資源を延命（循環型社会へ）
- 5 太陽光発電設備の導入などにより、CO2排出を抑制（脱炭素社会へ）
- 6 その他 ()

6 情報通信環境やデジタル関連施策について

問17 あなたはどのような通信機器を利用していますか。〈あてはまるもの全てに○印〉

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 スマートフォン | 2 スマートフォン以外の携帯電話 |
| 3 タブレット | 4 パソコン |
| 5 その他 () | |
| 6 利用していない | |

問18 あなたが利用しているサービスはどれですか。〈あてはまるもの全てに○印〉

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 ネットショッピング | 2 ネットバンキング |
| 3 オンライン書籍 | 4 動画配信サービス (YouTube,Netflix 等) |
| 5 SNS | 6 キャッシュレス決済 |
| 7 オンライン講座 | 8 テレワーク |
| 9 税務申告・確定申告 (e-Tax) | 10 スマート家電 |
| 11 その他 () | |
| 12 利用していない | |

問18-① (問18で「5」と回答された方におたずねします。)

あなたが利用しているSNSはどれですか。〈あてはまるもの全てに○印〉

- | | |
|----------------|------------|
| 1 X (旧Twitter) | 2 Facebook |
| 3 Instagram | 4 TikTok |
| 5 Threads | 6 LINE |
| 7 その他 () | |

問19 オンラインで申請や手続きができるようになって欲しい (できる種類が増えて欲しい) 申請や手続きはどれですか。〈あてはまるもの全てに○印〉

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 証明書発行申請 | 2 妊娠・出産関係手続き |
| 3 子育て関連手続き | 4 就学・学校関係手続き |
| 5 介護関係手続き | 6 工事受注・契約関係手続き |
| 7 給付金・補助金申請手続き | 8 イベント参加申込 |
| 9 税・料金の支払い | 10 行政相談 |
| 11 その他 () | |

問20 七宗町が、DX (情報通信技術などを活用すること) 施策を推進していくにあたって、特に力を入れて欲しいことは何ですか。〈あてはまるもの全てに○印〉

- | |
|--|
| 1 学校教育における ICT の活用 |
| 2 インターネットの活用による誰もが生涯を通じて様々な学びを体験できる環境の整備 |
| 3 「子育て」や「暮らし」に関して町民同士や移住検討者がオンラインで情報交換できる仕組み |
| 4 電子クーポンを活用した観光誘客・町内消費を促す仕組み |

- 5 窓口にいかなくても24時間いつでもスマートフォン等で各種申請の手続等ができる仕組み
- 6 障がい者手帳アプリなどデジタル技術を活用した福祉および障がい者支援
- 7 デジタル技術による健康長寿の支援（LINE活用による特定保健指導の向上等）
- 8 コワーキングスペースなどテレワーク環境の整備による多様な働き方の促進
- 9 防災および災害対応のデジタル化（災害・防災に関する情報の発信・共有）
- 10 スマートフォン教室など不慣れな方でも各種サービスのデジタル化による利便性を享受できる仕組み
- 11 公衆無線LANなどネットワークの充実
- 12 子育てや介護に携わっている方でも希望に応じて時間や場所に囚われず柔軟に就労できる環境の整備
- 13 その他（ ）

